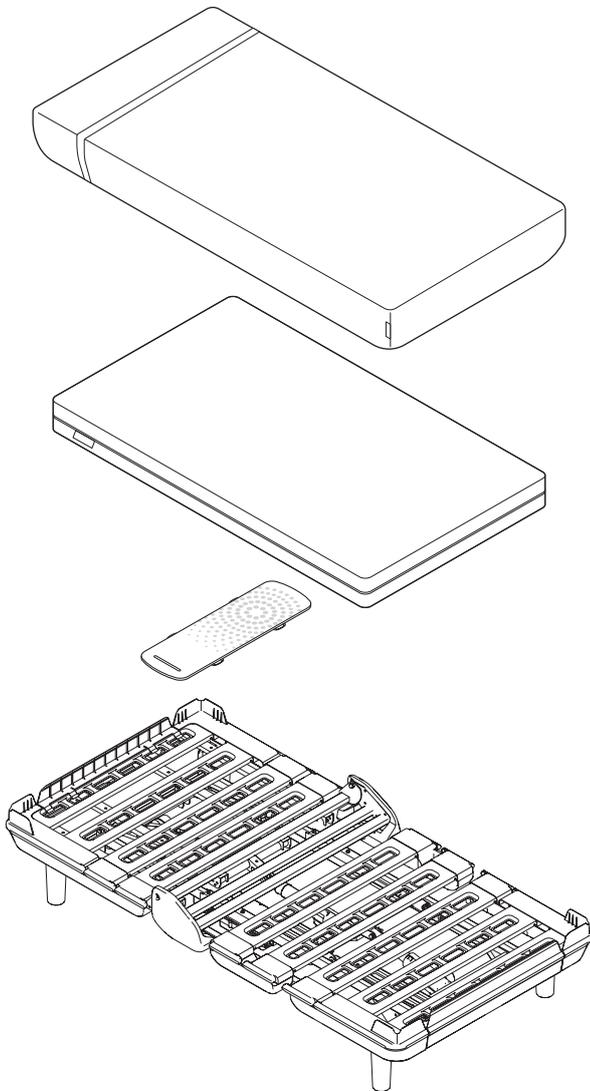


組立手順書



組立の流れ

*オプションを購入された場合のみ

駆動部の設置	P.13
↓	
脚座の取り付け	P.15
↓	
*キャスター(別売)の取り付け	P.18
↓	
電源コードの配線	P.20
↓	
*ケーブル類の配線	P.22
↓	
*オプション手元スイッチ(別売)の取り付け	P.27
↓	
背・腰ボトム取り付け	P.30
↓	
*Active Sleep ANALYZER(別売)の取り付け	P.33
↓	
膝・足ボトム取り付け	P.36
↓	
パネルセットの取り付け	P.40
↓	
*Active Sleep MATTRESS(別売)の取り付け	P.43
↓	
ボックスシーツの取り付け	P.50

警告

組立作業は2人以上で行ってください。ベッドを持ち上げる作業でバランスが崩れ、けがをしたり、ベッドが破損・変形したりするおそれがあります。

注意

組立作業は、ベッドの近くに壁やものがない場所で行ってください。ベッドが壁やものなどに当たり、破損するおそれがあります。

必要工具

- スパナ/ラチェットレンチ (対辺13mm) × 2
- スパナ/ラチェットレンチ (対辺17mm) × 1
- 六角レンチ (5mm) × 1
- 六角レンチ (6mm) × 1
- プラスドライバー × 1
- ニッパー × 1

組立後、本書は取扱説明書と一緒に大切に保管してください。



本書の見かた

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

本書では、本製品を安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています

- 本製品を正しく安全・快適にお使いいただくため、ご使用前に本書を必ずお読みください。
- 本書はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は、改良などにより、本書の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。
特別なものを除き本書では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- このベッドは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。

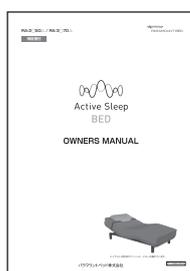
本書に記載されているマークについて

	特に重要な内容や間違いやすい内容、注意点などを記載していることを示しています。
	参照していただきたいページを示しています。
	ベッドの方向（頭側）を示しています。
	ベッドの方向（足側）を示しています。

同梱されている説明書

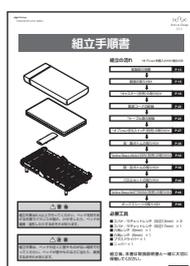
本製品には、「OWNERS MANUAL（取扱説明書）」と「組立手順書」の2冊が同梱されています。

● OWNERS MANUAL（取扱説明書）



- 本製品の特徴
- 使用前の確認と準備
- こんなときは
- 困ったときは
- オプション／マットレス
- アフターサービス
- 保証書

● 組立手順書



- 使用前の確認と準備
- 各部の名称
- 梱包部品
- 組立
- 組立後の点検
- 分解・保管
- アフターサービス

使用前の確認と準備	3
安全・安心のために	3
使用条件	3
ベッド操作・使用时	4
電装品について	5
点検・修理について	6
設置上の注意	7
ゆかへの荷重について	8
周辺スペースの確認	8
各部の名称	9
各部の名称	9
梱包部品	10
梱包部品の確認	10
駆動部	10
ボトムセット	11
パネルセット	12
組立	13
駆動部の設置	13
脚座の取り付け	15
キャスター（別売）の取り付け	18
電源コードの配線	20
頭側にコンセントがある場合	20
足側にコンセントがある場合	21

ケーブル類の配線	22
配線前の準備	22
Active Sleep ANALYZER（別売）の配線 ..	23
Active Sleep MATTRESS（別売）の配線 ..	25
オプション用手元スイッチ（別売）の取り付け	27
背・腰ボトム取り付け	30
Active Sleep ANALYZER（別売）の取り付け	32
膝・足ボトム取り付け	35
パネルセットの取り付け	39
サイドパネル（腰ヒンジ）の取り付け ..	39
サイドパネル（背ボトム／膝ボトム／足ボトム）の取り付け	40
エンドパネルの取り付け	40
Active Sleep MATTRESS（別売）の取り付け	42
ACアダプターの取り外し	43
Active Sleep MATTRESS の設置	45
ボックスシーツの取り付け	49
組立後の点検	50
組立後の点検	50
分解・保管	52
分解・保管	52

分解	52
付属部品、その他部品の保管	52
アフターサービス.....	53
アフターサービスについて	53
お問い合わせ先.....	54

安全・安心のために

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「警告」と「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

※ 本書をお読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

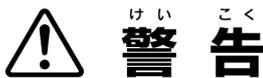


この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷（骨折・圧迫・麻痺など）を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷（打撲・すり傷・切り傷など）を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

使用条件



ベッドに直接取付けて使用するオプションやマットレスなどは、弊社が指定する適合品を使用してください。

指定以外の製品や他社製品と組合せると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたり、ベッドが故障したりするおそれがあります。

操作が理解できないと思われる方（12歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください。

誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。ベッド操作が可能なスマートフォン（Active Sleep ANALYZER（別売）併用時）や手元スイッチ（別売）に触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。

- 電源プラグを抜く。
- ベッド操作をロック（操作禁止）する。

※ ベッド操作をロック（操作禁止）したい場合は、下記をご覧ください。

スマートフォン：Active Sleep App の FAQ

手元スイッチ（別売）：手元スイッチの取扱説明書

火気に近づけないでください。

ベッドの近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。変質・変形・火災などの原因となります。



2人以上で使用しないでください。

このベッドは1人用の設計になっています。2人以上で使用すると、ベッドが破損してけがをするおそれがあります。

最大利用者体重を超える方は使用しないでください。

このベッドの最大利用者体重は 138kg です。最大利用者体重を超える方が使用すると、ベッドが破損してけがをするおそれがあります。

ベッドに安全動作荷重を超える荷重を加えないでください。

ベッドが破損してけがをするおそれがあります。このベッドの安全動作荷重は 1700N（174kgf）です。安全動作荷重は、ベッドを安全に使用できる荷重であり、利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重です。

スプレータイプの殺虫剤をベッドに直接噴射しないでください。

殺虫剤に含まれる溶剤によって、ベッドが破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがあります。

ベッド操作・使用時



身体の一部がすき間に入った状態でベッドの操作をしないでください。

- はさまれて、けがをするおそれがあります。
- 特に予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

ベッド操作を行う際は、動く部分に身体の一部を入れないでください。

- ベッドの可動部とフレームなどとの間にはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 2台のベッドを並べて使用する場合は、隣のベッドの動作にご注意ください。
- ベッド操作を行う際は、ベッドの下や内部および周りに人や障害物がないことを確認してください。
- スマートフォン操作でベッドの動作を止めたい場合は、Active Sleep App の FAQ を参照してください。
- 手元スイッチ（別売）の操作でベッドの動作を止めたい場合は、手元スイッチの取扱説明書をご覧ください。

ボトム角度を調節するときは、ベッドをご使用の方の状態に注意してください。

- ベッドをご使用の方がボトム角度調節中に動くと、ベッドから転落したり、すき間にはさまれたりして、けがをするおそれがあります。
- 特に体位を自分で保持できない方は、身体を支えながら操作してください。

ベッドは正しい向きや姿勢で使用してください。

- ベッドの頭側・足側を間違えて寝た状態で背あげ・膝あげ動作を行うと無理な姿勢となり、けがをするおそれがあります。
- うつ伏せや横向き（仰向け以外）で寝た状態での角度調節は、関節を逆に曲げることになり、けがをするおそれがあります。

あがった状態の背ボトムを手すり代わりにしないでください。

つかまったり、立ちあがったりするときなどに支えとして使用すると背ボトムが倒れ、転倒してけがをするおそれがあります。

ベッドを踏み台代わりにしたり、ベッド上で飛び跳ねたりしないでください。

ベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッドが故障したりするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

乳幼児やお子様には使用しないでください。

本製品は乳幼児やお子様向けに設計されていません。ベッドの可動部などに身体の一部をはさみ、けがをするおそれがあります。

ベッドと壁や周りのものとのすき間に注意してください。

- 身体の一部をはさむと、けがをするおそれがあります。

- 特に予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

ベッドをご使用の方の容体にあわせて使用し、治療中の方は医師に相談をしてください。

- ベッドの操作により容体を悪化させる可能性があります。
- ベッドのご使用に際して不安や疑問があるときは、かかりつけの医師にご相談ください。

ベッドを傾斜させる際は、必要に応じて膝ボトムをあげてください。

ベッドから滑り落ちて、けがをするおそれがあります。



あがっているボトムに乗らないでください。

ボトムの支持部に大きな力がかかり、破損・変形の原因となります。

ベッド操作時はベッド上や周りを確認してください。

- ベッド操作によって、周囲のものを破損させたり、ベッドが破損・変形する原因となったりします。
- ベッド操作によって、ベッド上のものが落下して破損するおそれがあります。

ベッドを傾斜させる際は、ベッド上のものに注意してください。

ベッド上のものが落下して破損するおそれがあります。

ベッドの角に注意してください。

足などをぶつけて、けがをするおそれがあります。

電装品について



コード類（電源コードなど）は正しく配線し、傷つけないでください。

- コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
 - ベッドの可動部でコード類をはさまないようにしてください。
 - コード類に重いものを置いたり、無理な力を加えたりしないようにしてください。
 - ベッドでコード類を踏みつけしないでください。
- 傷んだコード類は修理（交換）を依頼してください。

コード類に足を引っ掛けしないでください。

- 電源プラグやコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- 転倒して、けがをするおそれがあります。

ベッドや適合オプション以外のコード類は、ベッド内部やベッドの下を通さないでください。

- コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
- やむを得ずその他の機器のコード類をベッド内部やベッドの下を通す場合は、ベッドの可動部などでコード類を圧迫するなどしないでください。

電子治療器を使用するときは、電源プラグを抜いてください。

電子治療器（マイクロ波治療器、超短波治療器など）を同時に使用した場合、ベッドの故障や誤動作の原因となります。なお、他の ME 機器と併用するときは、安全をご確認の上で使用ください。

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。

電源コードのみを持って引っ張るとコードが傷んで、感電・火災のおそれがあります。

お手入れや掃除、ベッドの移動などの際は、電源プラグを抜いてください。

誤操作によりベッドが動作し、けがをするおそれがあります。

電源プラグに無理な力を加えないでください。

電源プラグが破損し、感電・火災のおそれがあります。

電源プラグにほこりなどを付着させないでください。

- 湿気などで絶縁不良となり、感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグにほこりなどが付着した場合は、乾いた布などでよく拭き取ってください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電したり、故障したりするおそれがあります。

アクチュエーター（モーター）などの電装品に水などをかけないでください。

感電したり、故障したりする原因となります。誤って水などをかけてしまった場合は、電源プラグをコンセントから抜き、パラテクノコールセンターまでご連絡ください。

アクチュエーター（モーター）に異音や振動が発生した際は、ベッドを使用しないでください。

ベッドが誤動作してけがをしたり、ベッドが故障したりするおそれがあります。電源プラグをコンセントから抜き、パラテクノコールセンターまでご連絡ください。

点検・修理について



お客様による修理・改造はしないでください。

意図せぬすき間の発生や異常動作などにより、けがをするおそれがあります。

ベッドは定期的に点検してください。

使用の頻度や環境により、製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。思わぬけがをするおそれがあります。

被災したベッドは点検・修理を依頼してください。

地震・火災・水害などで被災したベッドを使用しないでください。感電や火災、ベッドの動作異常により、けがをするおそれがあります。パラテクノコールセンターまで点検・修理をご依頼ください。

設置上の注意

設置上の注意

ベッドを設置するにあたって、下記の注意事項を守ってください。ベッドを組み立て・設置した後に部屋の中の移動や向きの変更が困難な場合があります。



電源プラグの抜き差しができなくなる場所には、ベッドを設置しないでください。

- 誤操作を防止するために、電源プラグを抜くことが必要になる場合があります。
- 誤操作によるけがをすることおそれがあります。

ベッドの電源は直接コンセントからとり、タコ足配線は行わないでください。

コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して火災のおそれがあります。



ベッド周辺のスペースを確保してください。

ベッドを操作する際、周りの家具備品、部屋の構造物などに当たらないことを確認してください。家具備品や構造物などが破損することおそれがあります。

ベッド使用時に、ゆかにかかる荷重に耐えられる場所に設置してください。

寝具およびオプションやベッドを使用する方の体重を加えた総質量が、ベッド使用時にゆかにかかる荷重となります。この荷重に耐えられる場所に設置してください。ゆかなどが破損することおそれがあります。

以下の場所への設置は避けてください。故障の原因となります。

- 直射日光の当たる場所
- 冷暖房器による冷気や暖気が直接当たる場所
- 過度の水蒸気や油蒸気のかかりやすい場所
- 高温・多湿・低温・乾燥した場所
- ほこり・煙・塩分・イオウ分・腐食性物質などの多い場所
- 換気の悪い場所
- 振動や衝撃のある場所
- ゆかが水平でない場所

畳やじゅうたんなどの上で長期間使用する場合やビニル系のゆか材の上で使用する場合は、脚座の下に敷物などを敷いてください。

材質によってはゆか材がへこむおそれがあります。また、ゆか材が変色することおそれがあります。

ゆかへの荷重について

ベッド使用時にゆかにかかる荷重は以下の通りです。
この荷重に耐えられる場所に設置してください。

シングルの場合

ベッド (最大 64kg)*
+
マットレス・オプションなど
+
使用する方の体重

※ ボックスシーツ (1kg) を含む

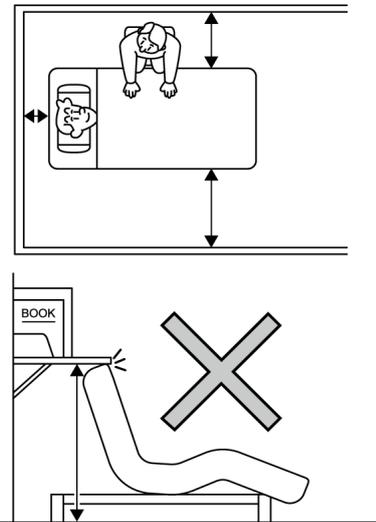
セミダブルの場合

ベッド (最大 68.5kg)*
+
マットレス・オプションなど
+
使用する方の体重

※ ボックスシーツ (1.5kg) を含む

周辺スペースの確認

ベッド周辺のスペースを確認して設置してください。



(1) 壁とベッド頭側の間

(2) 壁とベッド左右の間

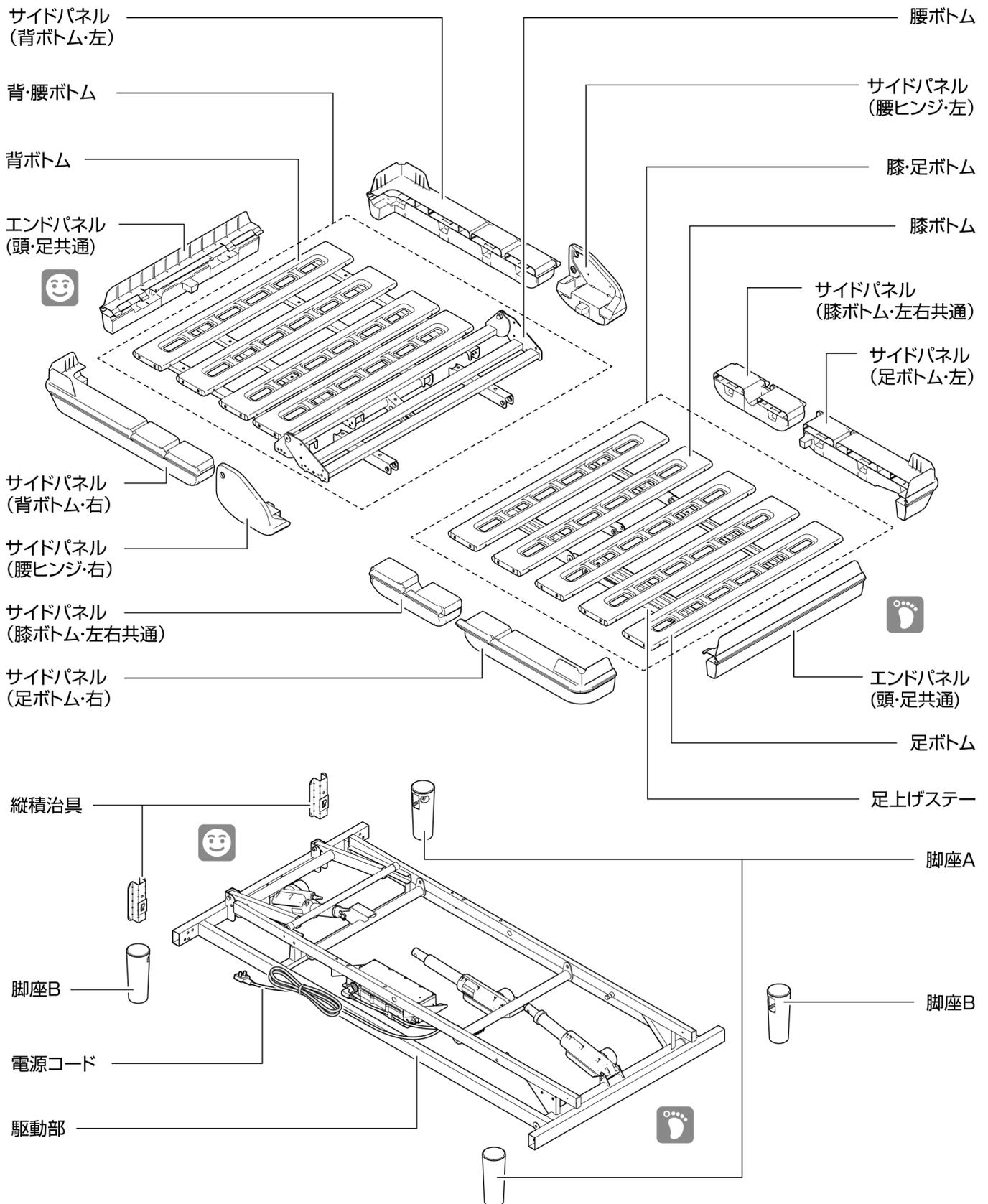
ベッドから乗り降りするときに、必要なスペースを確保してください。

(3) 高さ

- 背あげ・傾斜あげ・ラクリアモーションを操作したときに、壁や梁、周りのものに当たらない位置に設置してください。
- キャスター (別売) を取り付けた場合、2cm 高くなります。

各部の名称

各部の名称



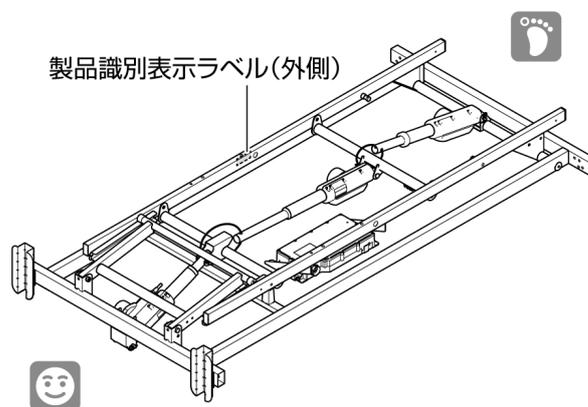
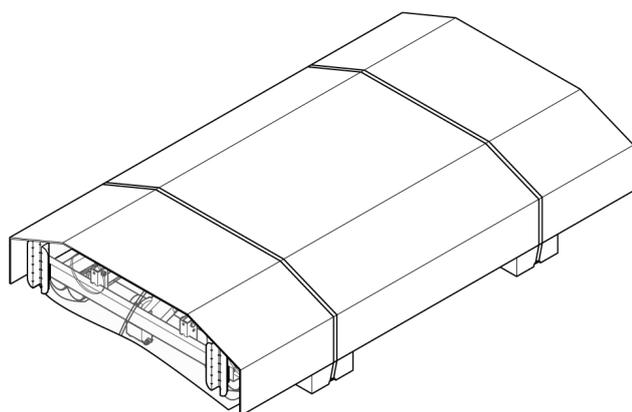
梱包部品の確認

開梱後、下記の部品がすべて揃っていること、破損していないことを確認してください。万一、部品の不足や破損があった場合には、販売店または直接弊社までご連絡ください。

📞 お問い合わせ先(P.54)

駆動部

梱包状態



ベッドの種類	シングル	セミダブル
品番	RA3450K	RA3470K
質量	30.0 kg (34.0 kg)	30.5 kg (34.5 kg)
梱包サイズ	102×177×30 cm	102×177×30 cm

※ () 内の数字は、梱包材を含む質量です。

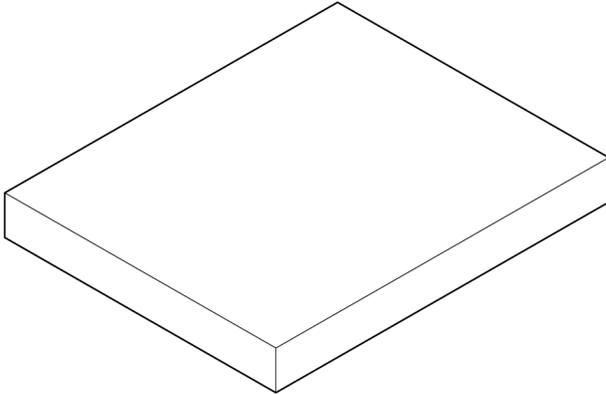
付属部品

部品名	☒	数量	部品名	☒	数量
脚座 A		2	プッシュリベット		4
脚座 B		2	組立手順書 (本書)		1

梱包部品の確認

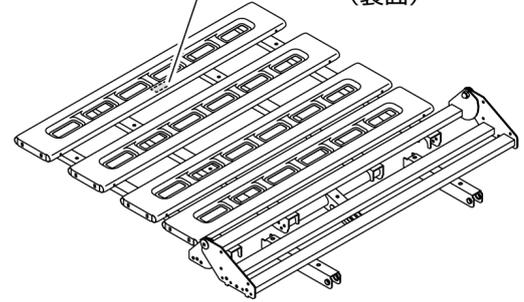
ボトムセット

梱包状態

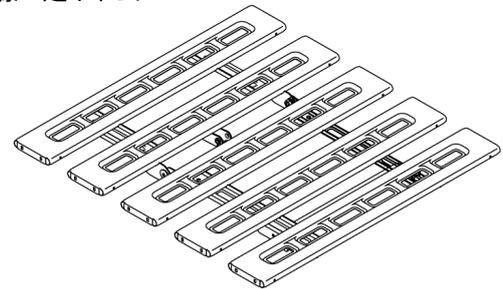


背・腰ボトム

製品識別表示ラベル
(裏面)



膝・足ボトム



※ 付属部品は、梱包材の中に入っています。
誤って捨ててしまわないように注意して
ください。

ベッドの種類	シングル	セミダブル
品番	RA3050U	RA3070U
質量	27.5 kg (34.0 kg)	32.0 kg (40.0 kg)
梱包サイズ	107×105×24 cm	107×128×24 cm

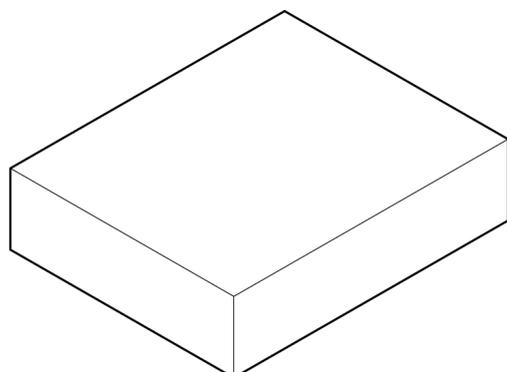
※ () 内の数字は、梱包材を含む質量です。

付属部品

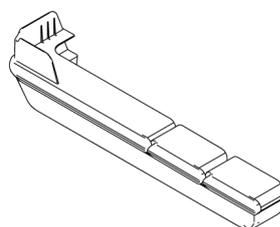
部品名	図	数量	部品名	図	数量
連結ピン		2	ゆるみ止めナット (対辺 17 mm)		2
スナップピン		2	ナット (対辺 13 mm)		4
六角穴付ボタンボルト (対辺 5 mm)		4	オーナーズマニュアル (保証書付)		1
六角穴付ボルト (対辺 6 mm)		2			

パネルセット

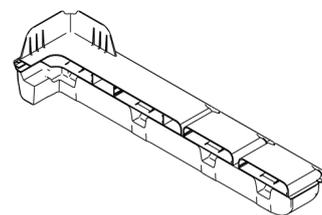
梱包状態



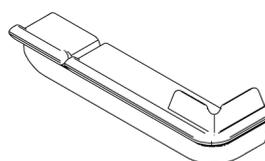
サイドパネル
(背ボトム・右)



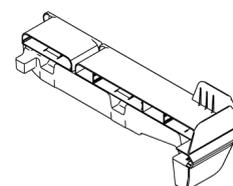
サイドパネル
(背ボトム・左)



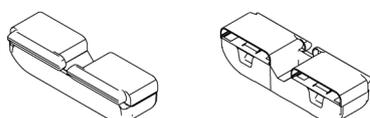
サイドパネル
(足ボトム・右)



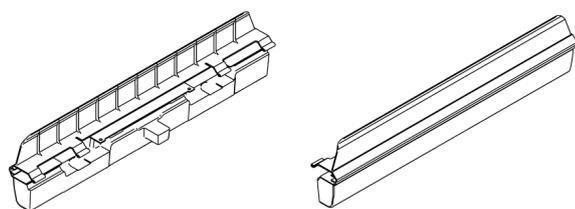
サイドパネル
(足ボトム・左)



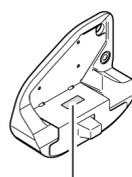
サイドパネル (膝ボトム・左右共通)



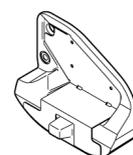
エンドパネル (頭・足共通)



サイドパネル
(腰ヒンジ・右)



サイドパネル
(腰ヒンジ・左)



製品識別表示ラベル

ベッドの種類	シングル	セミダブル
品番	RA3050P	RA3070P
質量	4.0 kg (6.0 kg)	4.5 kg (6.0 kg)
梱包サイズ	66×92×18 cm	66×92×18 cm

※ () 内の数字は、梱包材を含む質量です。

付属部品

部品名	図	数量
スクリベット		6

駆動部の設置

駆動部の設置

警告

電源コードや部品類などを傷つけないように注意してください。

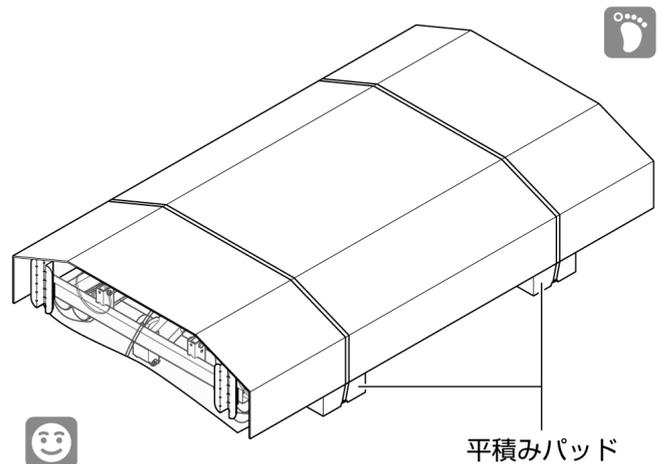
破損し、感電・火災のおそれがあります。

注意

畳やじゅうたんなどの上で長期間使用する場合やビニル系のゆか材の上で使用する場合は注意してください。

材質によってはゆか材がへこむおそれがあります。また、ゆか材が変色するおそれがあります。脚座の下に敷物などを敷いてください。

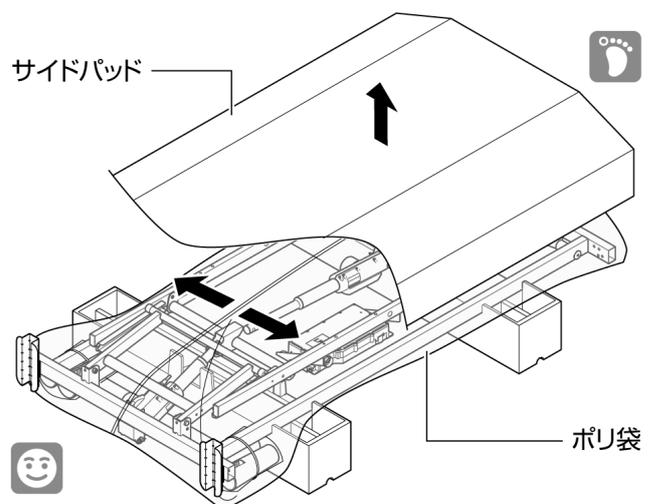
1. 駆動部を平積みパッドで支えるようにして、ゆかに置く。



2. 梱包のバンドを取り外し、サイドパッドとポリ袋を取り外す。

Note

- ベッドをゆかに置く際に、ゆかを傷つけないように注意してください。
- 駆動部のフレームやコード類を傷つけるおそれがあるため、ポリ袋を取り外す際にカッターなどの刃物を使用する場合は注意してください。
- アクチュエーターを固定している結束バンドは、この段階ではまだ取り外さないでください。



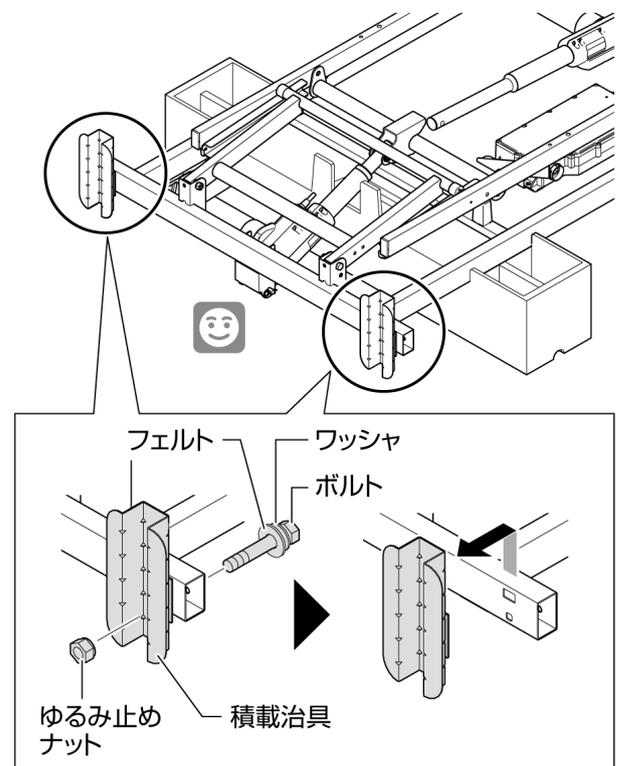
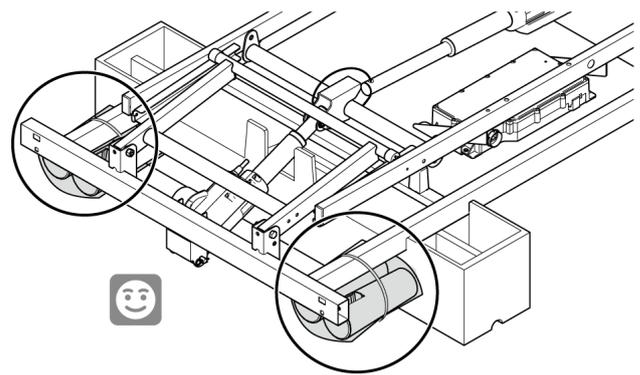
3. 駆動部のフレームに括りつけられている脚座を取り外す。

Note

- 駆動部のフレームやコード類を傷つける恐れがあるため、結束バンドを取り外す際にカッターなどの刃物を使用する場合は注意してください。
 - 脚座が落下しないように、手で支えながら取り外してください。
4. 工具を使用して、ベッド頭側にある縦積治具からボルト（対辺 13mm）・ワッシャ・フェルト・ゆるみ止めナット（対辺 13mm）を取り外す。（左右各 1ヶ所）
5. 縦積治具をベースフレームから取り外す。

Note

取り外した縦積治具・ボルト（対辺 13mm）・ワッシャ・フェルト・ゆるみ止めナット（対辺 13mm）は使用しませんので、破棄してください。



Check

作業が終わりましたら、下記の項目を点検してください。

- フレームなどに傷はありませんか？
- 縦積治具（2ヶ所）は取り外しましたか？

脚座の取り付け

脚座の取り付け

脚座の代わりにキャスター（別売）を取り付ける場合は、この段階で取り付けてください。

📖 キャスター（別売）の取り付け(P.18)

警告

脚座を取り付ける際は、プッシュリベットで脚座を確実に固定してください。

固定されていない場合、脚座が外れてけがや破損の原因となります。

脚座の向きやプッシュリベットの取付位置に注意して取り付けてください。

脚座が外れてけがや破損の原因となります。

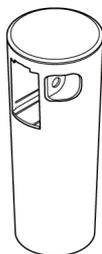
滑りやすいゆか材（フローリングなど）の上で使用する場合は、脚座の下に敷物などを敷いてください。

使用中にベッドが不意に動き、転倒してけがをするおそれがあります。

1. 脚座をベースフレームに差し込む。（4ヶ所）

Note

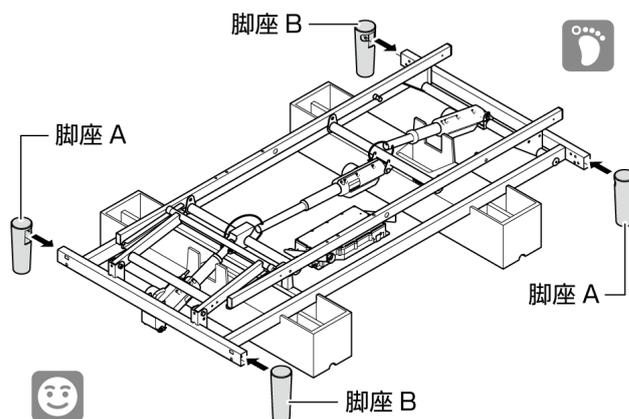
脚座には向きがあります。図を参照して脚座A・Bの取り付け向きに注意してください。



脚座A



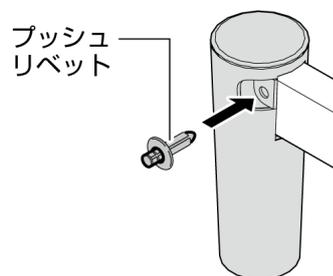
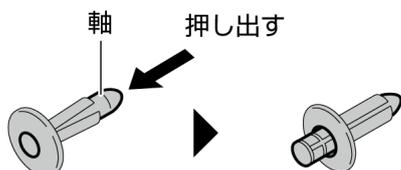
脚座B



2. 脚座とベースフレームの穴位置をあわせ、脚座に同梱されているプッシュリベットを差し込む。（4ヶ所）

Note

プッシュリベットを取り付ける際は、軸が出ているか確認してください。軸が出ていない場合は、軸を押し出してください。



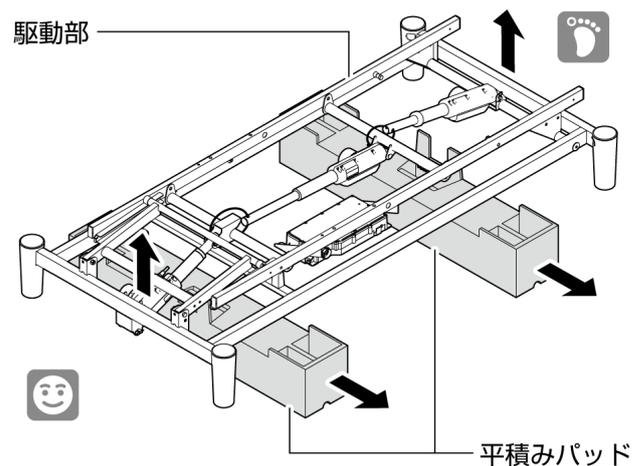
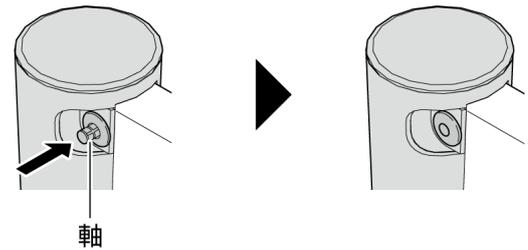
3. 「カチッ」と音がするまでプッシュリベットの軸を指で押し込んで、脚座をベースフレームに固定する。

Note

- プッシュリベットの軸を押し込み過ぎないように注意してください。固定が解除され、プッシュリベットが外れてしまうおそれがあります。
 - 取り付け後、脚座を軽く引いて、ベースフレームに確実に取り付けられていることを確認してください。
4. 駆動部を少し持ち上げて、平積みパッドを取り外す。

Note

平積みパッドを取り外す際は、手や指などをはさまないように注意してください。

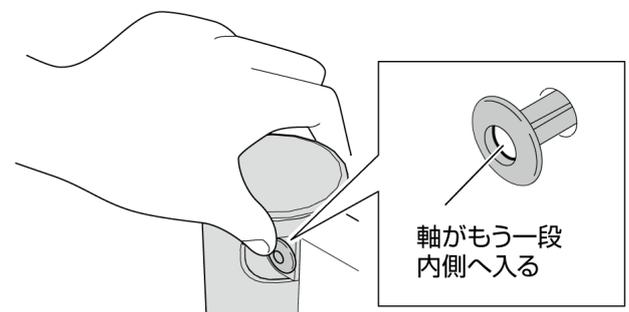


プッシュリベットを外すときは

1. 「カチッ」と音がするまで指で軸をさらに押し込む。
2. 固定が解除されるので、そのままプッシュリベットを抜き取る。

Note

指で軸を押し込めない場合は、軸を押し込み過ぎないように注意しながらドライバーなどで軽く押し込んでください。



脚座の取り付け



作業が完了したら、下記の項目を点検してください。

- ベースフレームの4ヶ所すべてに脚座がはまり、プッシュリベットが確実に取付けられていますか？
- プッシュリベットの軸は押し込まれていますか？
- 脚座にゆらみやがたつきはありませんか？

キャスター（別売）の取り付け

キャスターを取り付ける前に、キャスターの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。

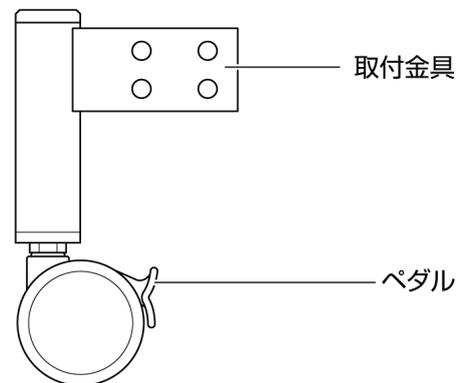
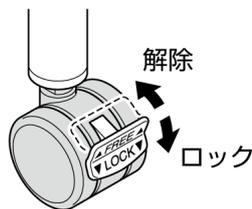
警告

キャスターを取り付ける際は、ボタンスボルトでキャスターを確実に固定してください。
固定されていない場合、キャスターが外れてけがや破損の原因となります。
キャスターの向きやボタンスボルトの取付位置に注意して取り付けてください。
キャスターが外れてけがや破損の原因となります。

注意

キャスターを取り付ける際は、4輪すべてのキャスターをロック状態にしてください。
キャスターがロック状態になっていない場合、作業中にベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。
キャスターを落とさないように注意してください。
キャスターを落として、ゆかを傷つけるおそれがあります。

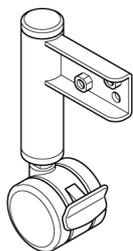
1. 図のように、ペダルを取付金具に向けた状態で、
4輪すべてのキャスターをロック状態にする。



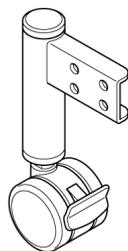
2. キャスターをベースフレームに差し込む。(4ヶ所)

Note

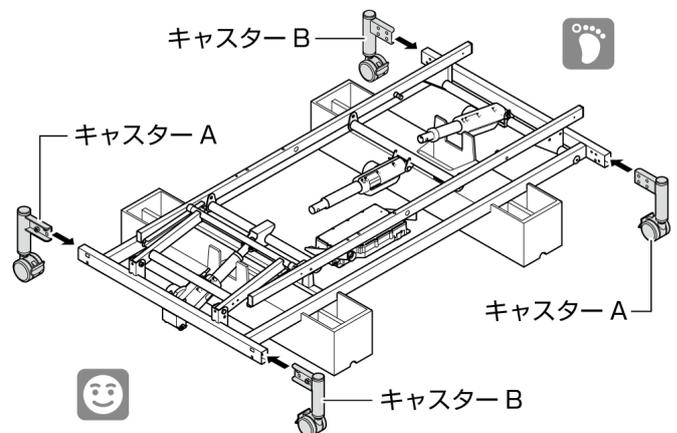
キャスターには向きがあります。図を参照してキャスターA・Bの取り付け向きに注意してください。



キャスターA



キャスターB



キャスター（別売）の取り付け

3. キャスターに同梱されているボタンボルトをベッドの内側から差し込んで仮止めし、付属の六角レンチで締め付ける。（各2ヶ所）

※ 図は足側・右で説明しています。

4. キャスターにゆるみやがたつきがないことを確認する。

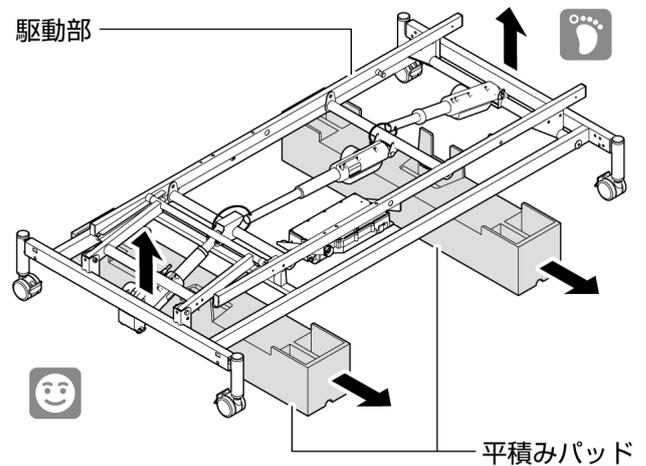
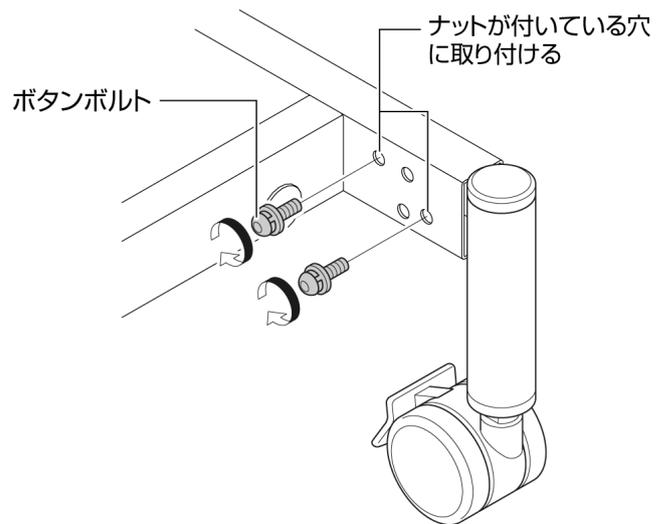
Note

ベースフレームとキャスターの取付金具にすき間が生じますが、製品に問題ありません。

5. 駆動部を少し持ち上げて、平積みパッドを取り外す。

Note

平積みパッドを取り外す際は、手や指などをはさまないように注意してください。



Check

作業が完了したら、下記の項目を点検してください。

- ベースフレームの4ヶ所すべてにキャスターがはまり、ボタンボルトが確実に取付けられていますか？
- ボタンボルトが正しい位置に取り付けられていますか？また確実に締め付けられていますか？（各2ヶ所）
- キャスターにゆるみやがたつきはありませんか？
- すべてのキャスターをロック状態にしていますか？

電源コードの配線

電源コードは、コンセントの方向にあわせて配線してください。



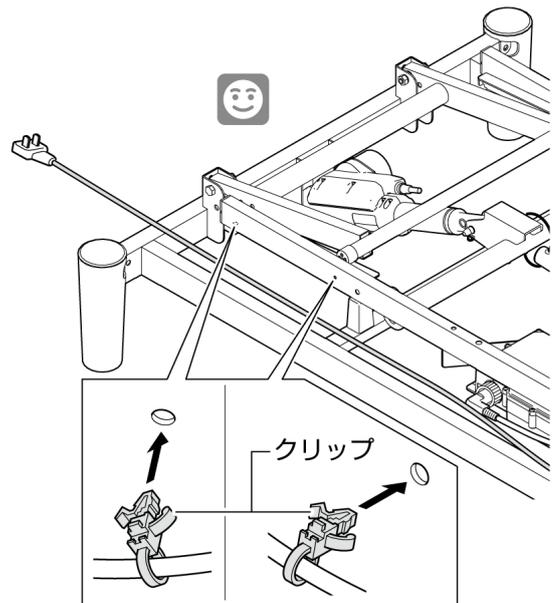
電源コードは正しく配線してください。

電源コードが破損して、感電・火災のおそれがあります。

- 脚座やキャスターなどで踏まないように配線してください。
- ベッドの可動部にはさまれたり、掛かったりしないように配線してください。
- ベッドの内側に電源コードのたるみがないように配線してください。
- 組立作業中は電源プラグをコンセントに差し込まないでください。誤操作によりベッドが動作して、けがをするおそれがあります。

頭側にコンセントがある場合

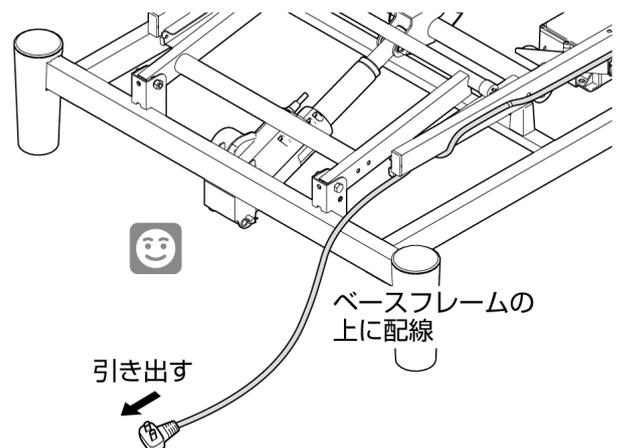
1. 図のように、電源コードのクリップを駆動部のフレームの取付穴（側面1ヶ所・下面1ヶ所）に差し込む。



2. ケーブルをベースフレームの上に配線し、ベッドの内側に入り込まないように引き出す。

Note

余ったコードがベッドの内側に入り込まないように、注意して配線してください。



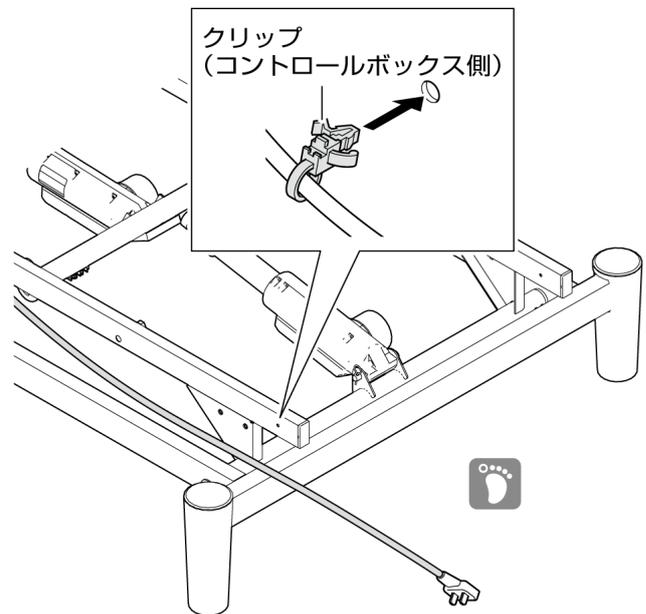
電源コードの配線

足側にコンセントがある場合

1. 図のように、電源コードのクリップを駆動部のフレームの取付穴（1ヶ所）に差し込む。

Note

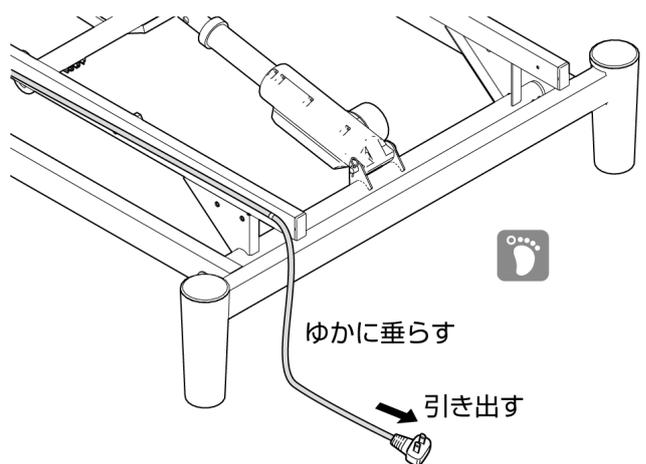
電源コードのクリップは2個あります。コントロールボックス側のクリップのみ取付穴に差し込んでください。（プラグ側のクリップは使用しません。）



2. ケーブルをゆかに垂らして、ベッドの内側に入り込まないように引き出す。

Note

余ったコードがベッドの内側に入り込まないように、注意して配線してください。



Check

作業が終わりましたら、下記の項目を点検してください。

- 電源コードのクリップが駆動部のフレームに差し込まれていますか？
 - 頭側にコンセントがある場合：2ヶ所（側面1ヶ所・下面1ヶ所）
 - 足側にコンセントがある場合：1ヶ所
- ベッドの可動部に接触していませんか？
- 脚座やキャスターで踏んでいませんか？
- ベッドの内側にコードのたるみがありませんか？

ケーブル類の配線

Active Sleep ANALYZER (別売) や Active Sleep MATTRESS (別売) を購入されていない場合は、ケーブル類の配線は不要です。

☞ 背・腰ボトムの取り付け(P.30)

配線する前に、各製品の取扱説明書もよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。

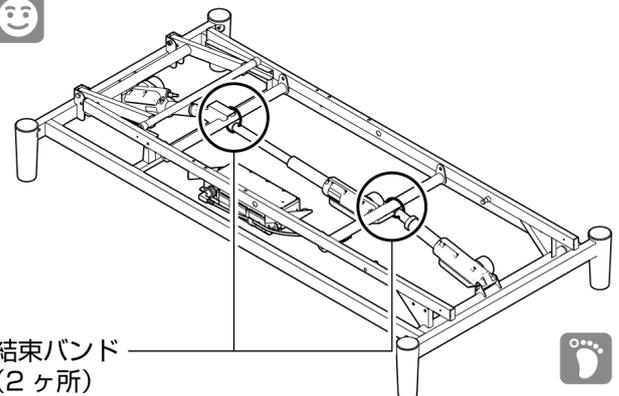


ケーブル類は正しく配線し、傷つけないでください。

- ケーブル類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
 - ベッドの可動部でケーブル類をはさまないようにしてください。
 - ケーブル類に重いものを置いたり、無理な力を加えたりしないようにしてください。
 - ベッドでケーブル類を踏みつけないでください。
- 傷んだケーブル類は修理（交換）を依頼してください。

配線前の準備

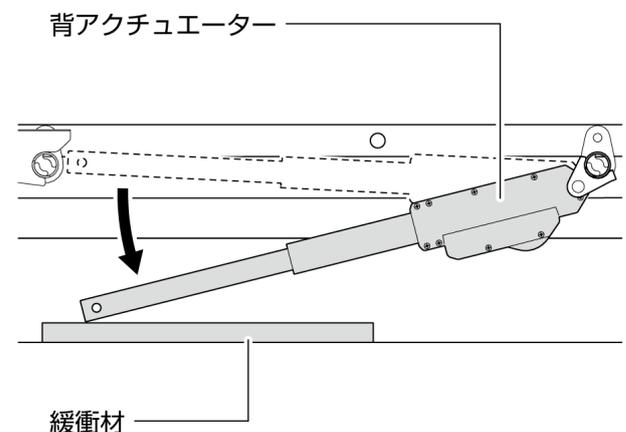
1. アクチュエーターを手で支えながら、固定している結束バンドをニッパーなどで切り取る。（2ヶ所）



2. ゆかに緩衝材などを敷いて、アクチュエーターの先端をゆかに静かにおろす。



アクチュエーターをゆかに落とさないよう注意してください。けがをしたり、ゆかを傷つけたりするおそれがあります。



Active Sleep ANALYZER (別売) の配線

Active Sleep ANALYZER (別売) に付属されているベッド接続ケーブルをベッドのコントロールボックスに接続してください。

1. コントロールボックスの H1 差込部 (シール: 黒) のゴムキャップを取り外す。

Note

取り外したゴムキャップは紛失しないように保管してください。

2. ベッド接続ケーブルのケーブルコネクター (大) の凸部を下向きにし、コントロールボックスの H1 差込部 (シール: 黒) に差し込む。

ケーブルコネクター (小)

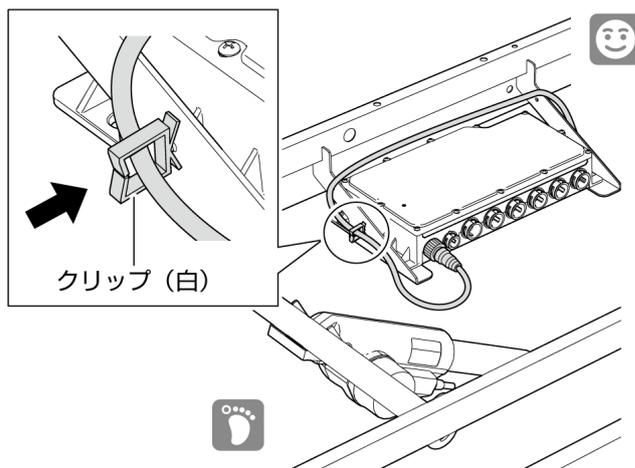
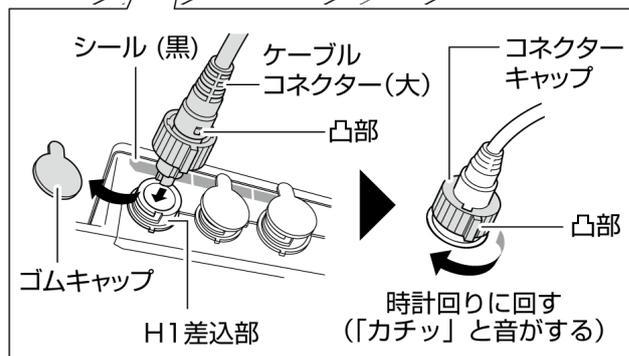
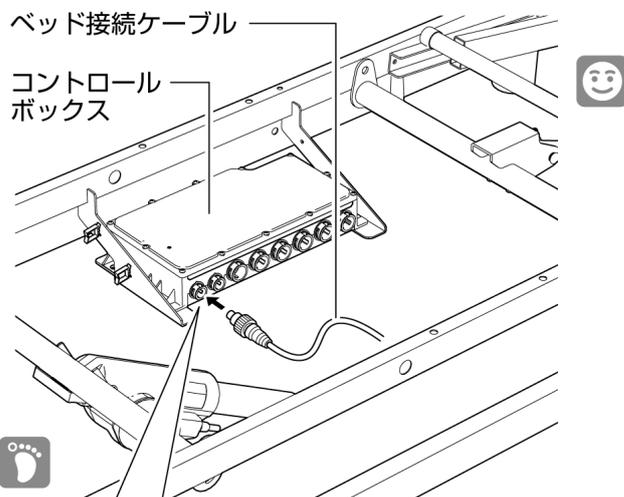


3. コネクターキャップを時計回りに回して固定する。「カチッ」と音がして固定されます。

4. ケーブルをコントロールボックス側面 (足側) にあるクリップ (白) に留める。

Note

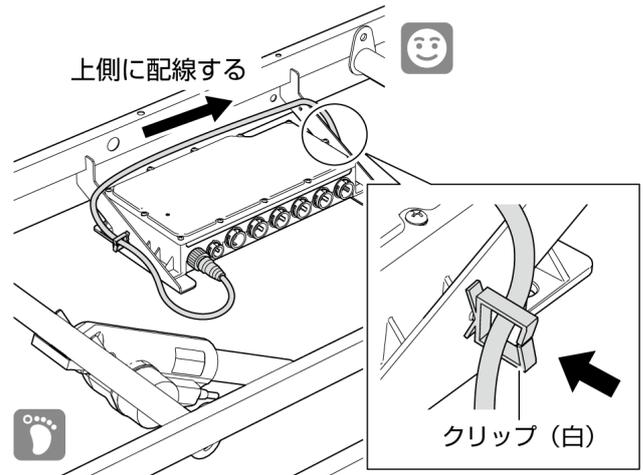
- コントロールボックス側面 (足側) のクリップ (白) は 2 個あります。図のように、ケーブルはベッド内側にあるクリップ (白) に留めてください。
- 膝アクチュエーターのケーブルがクリップ (白) に留められていますが、外さずにベッド接続ケーブルと一緒に留めてください。



5. ケーブルをコントロールボックスの上を配線し、コントロールボックス側面（頭側）にあるクリップ（白）に留める。

Note

コントロールボックスから足側のクリップ（白）までのケーブルがたるまないように頭側に引っ張ってください。

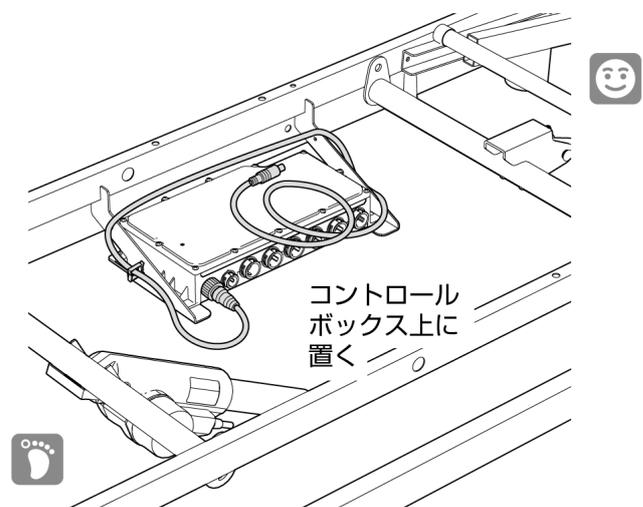


6. 図のように、ケーブルを束ねて、コントロールボックスの上に置く。

Note

背・腰ボトムを取り付けた後に、Active Sleep ANALYZER 本体とベッド接続ケーブルを接続します。

🔗 Active Sleep ANALYZER（別売）の取り付け (P.32)



Check

作業が終わりましたら、下記の項目を点検してください。

- コネクターキャップの凸部が真下にきていますか？
- ケーブルがクリップ（白）に固定されていますか？（頭側 1 ヶ所・足側 1 ヶ所）
- ケーブルが正しく配線されていますか？
- コントロールボックスから足側のクリップ（白）までの（ベッド接続）ケーブルがたるんでいませんか？
- ケーブルが駆動部のフレームにかかっていませんか？
- ベッドの可動部に接触していませんか？
- ケーブルをコントロールボックスの上に置いていますか？

ケーブル類の配線

Active Sleep MATTRESS (別売) の配線

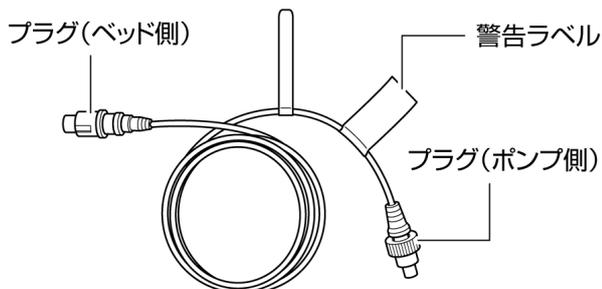
Active Sleep MATTRESS (別売) に付属されているベッドリンクケーブルをベッドのコントロールボックスに接続してください。

1. コントロールボックスの差込部 (シール: OP) のゴムキャップを取り外す。

Note

取り外したゴムキャップは紛失しないように保管してください。

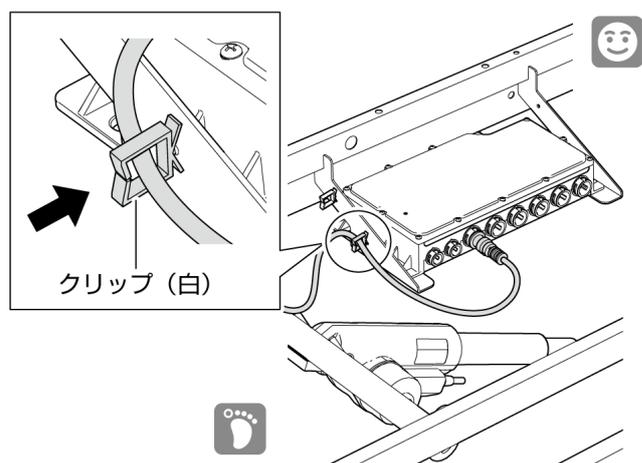
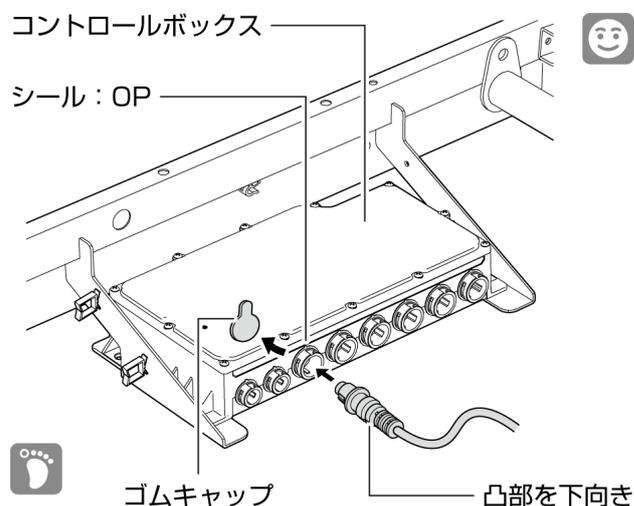
2. ベッドリンクケーブルのプラグ (ベッド側) の凸部を下向きにし、コントロールボックスの差込部 (シール: OP) に差し込む。



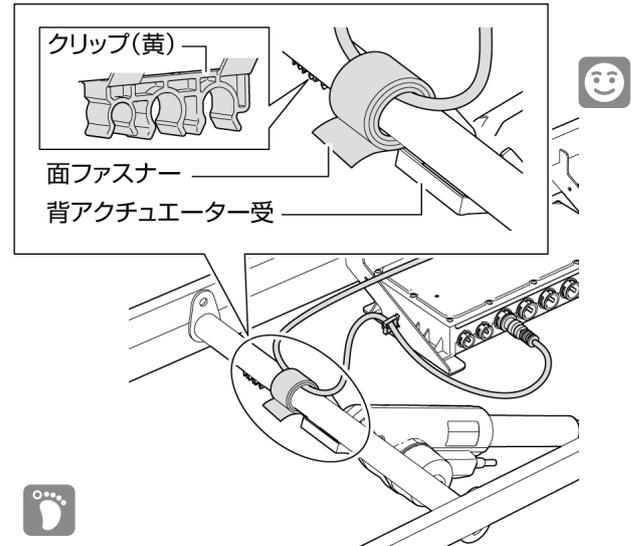
3. ケーブルをコントロールボックス側面 (足側) にあるクリップ (白) に留める。

Note

- コントロールボックス側面 (足側) のクリップ (白) は2個あります。図のように、ケーブルはベッド内側にあるクリップ (白) に留めてください。
- 膝アクチュエーターのケーブルがクリップ (白) に留められていますが、外さずにベッドリンクケーブルと一緒に留めてください。Active Sleep ANALYZER のベッド接続ケーブルが留められている場合は、すべてのケーブルをクリップ (白) に留めてください。



4. Active Sleep MATTRESS に付属されている面ファスナーを使用して、クリップ（黄）と背アクチュエーター受の間にケーブルを固定する。

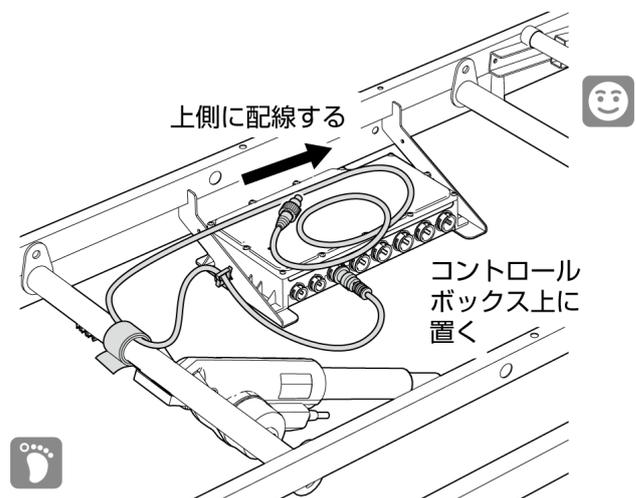


5. ケーブルをコントロールボックスの上に配線する。
6. 図のように、ケーブルを束ねて、コントロールボックスの上に置く。

Note

各ボトム・パネルセットを取り付けた後に、Active Sleep MATTRESS 本体とベッドリンクケーブルを接続します。

☞ Active Sleep MATTRESS（別売）の取り付け (P.42)



Check

作業が終わりましたら、下記の項目を点検してください。

- コネクターキャップの凸部が真下にきていますか？
- ケーブルがクリップ（白）に固定されていますか？（足側1ヶ所）
- ケーブルが面ファスナーで正しい位置に固定されていますか？
- ケーブルが正しく配線されていますか？
- ケーブルが駆動部のフレームにかかっていませんか？
- ベッドの可動部に接触していませんか？
- ケーブルをコントロールボックスの上に置いていますか？

オプション用手元スイッチ（別売）の取り付け

オプション用手元スイッチ（別売）の取り付け

オプション用手元スイッチ（別売）を購入されていない場合は、取り付け作業は不要です。

取り付ける前に、手元スイッチの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。



手元スイッチの取扱いに注意してください。

- ベッドが誤作動してけがをしたり、故障したりする原因となります。また、感電・火災のおそれがあります。
 - ぶついたり傷をつけたりしないでください。
 - 落としたり、ケーブルを無理に引っ張ったりしないでください。
- 傷んだ手元スイッチは、交換を依頼してください。

手元スイッチケーブルに足を引っ掛けないでください。

- ケーブルが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- 転倒して、けがをするおそれがあります。

手元スイッチに水などをかけないでください。

感電したり、故障したりする原因となります。誤って水などをかけてしまった場合は、ベッドの電源プラグをコンセントから抜き、パラテクノコールセンターまでご連絡ください。

☎ お問い合わせ先(P.54)

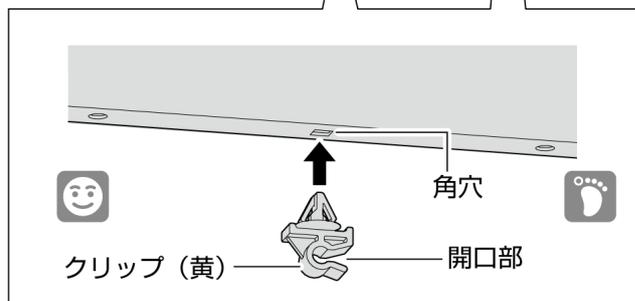
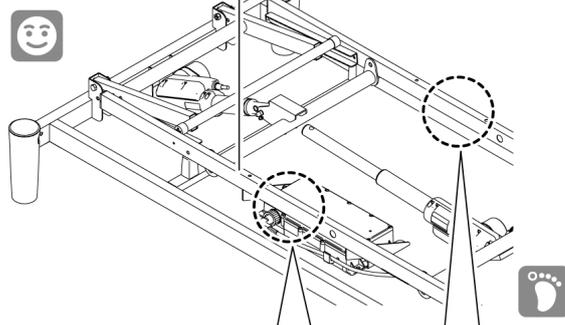
1. 手元スイッチに同梱されているクリップ（黄）を駆動部のフレームの角穴に取り付ける。（左右各1ヶ所）

Note

クリップ（黄）には向きがあります。開口部が足側になるように取り付けてください。間違えて取り付けてしまった場合は、無理に取り外さずに直接弊社までご連絡ください。

☎ お問い合わせ先(P.54)

駆動部のフレーム



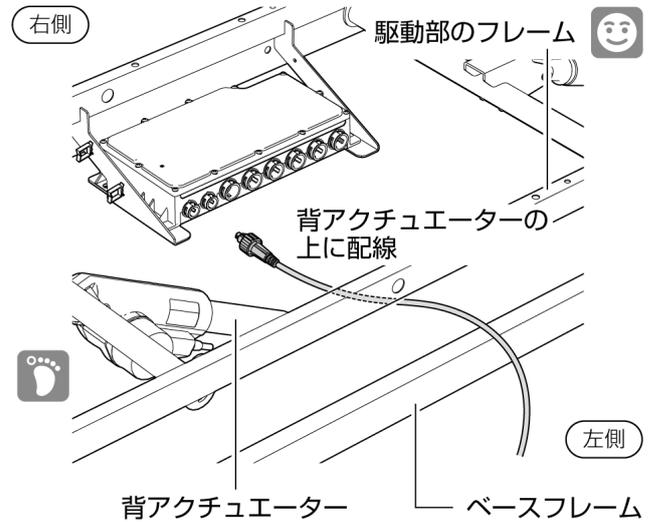
オプション用手元スイッチ（別売）の取り付け

2. 手元スイッチを使用する向きにあわせて左右を決めて、手元スイッチケーブルを駆動部のフレームとベースフレームの間に通す。

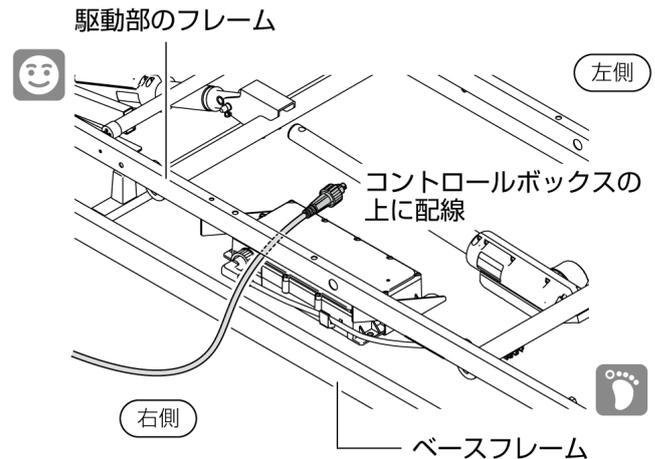
Note

- ベッド左側で手元スイッチを使用する場合、手元スイッチケーブルを背アクチュエーターの上に配線してください。
- ベッド右側で手元スイッチを使用する場合、手元スイッチケーブルをコントロールボックスの上に配線してください。

ベッド左側で手元スイッチを使用する場合



ベッド右側で手元スイッチを使用する場合

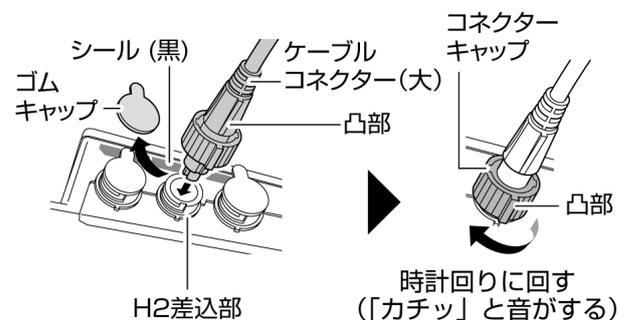


3. コントロールボックスの H2 差込部（シール：黒）のゴムキャップを取り外す。

Note

取り外したゴムキャップは紛失しないように保管してください。

4. 手元スイッチケーブルのケーブルコネクタ（大）の凸部を下向きにし、コントロールボックスの H2 差込部（シール：黒）に差し込む。
5. コネクタキャップを時計回りに回して固定する。「カチッ」と音がして固定されます。

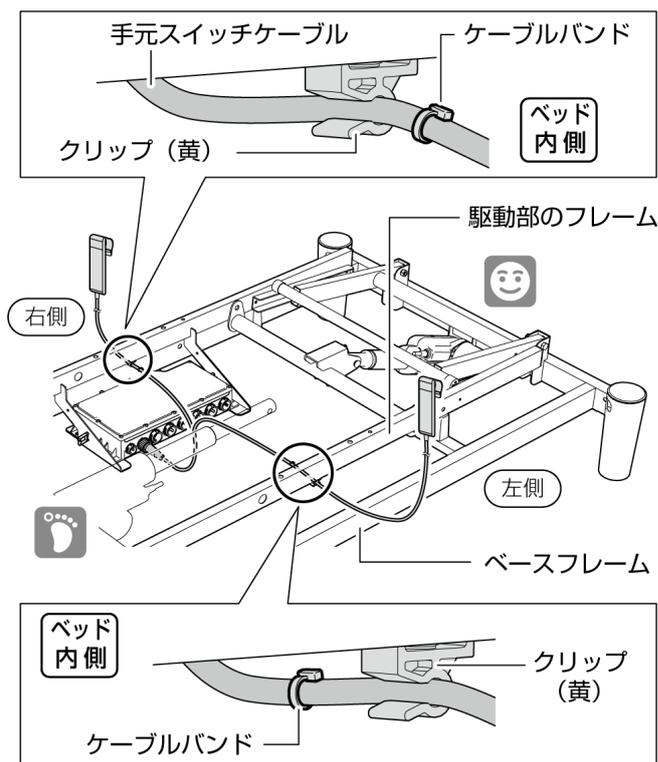


オプション用手元スイッチ（別売）の取り付け

6. 駆動部のフレームに取り付けたクリップ（黄）に手元スイッチケーブルを留める。

Note

- 手元スイッチのケーブルバンドがクリップ（黄）よりもベッドの内側になるように固定してください。
 - 余ったケーブルがたるんで、ゆかに落ちないように、ベッドの外側に引き出してください。
7. ベッドの電源プラグをコンセントに差し込み、手元スイッチの電源ランプが緑点灯することを確認する。電源ランプの位置については、手元スイッチの取扱説明書をご覧ください。
8. ベッドの電源プラグをコンセントから抜く。



Check

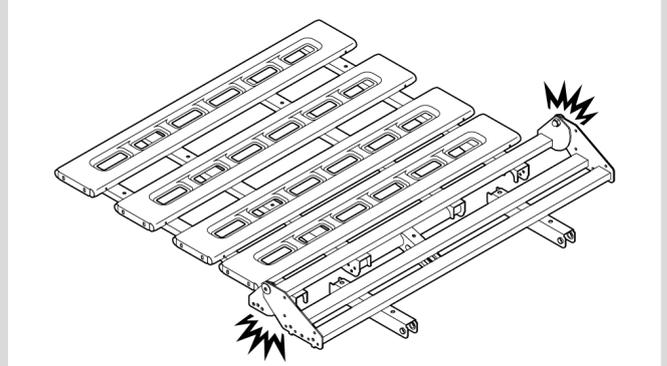
作業が終わりましたら、下記の項目を点検してください。

- 手元スイッチケーブルに傷などありませんか？
- 手元スイッチに傷や破損がありませんか？
- 駆動部のフレームにクリップ（黄）が取り付けられていますか？（左右各1ヶ所）
- クリップ（黄）の開口部が足側になるように取り付けられていますか？
- 駆動部のフレームとベースフレームの間を通過していますか？
- 左側から配線時、背アクチュエーターの上を通過していますか？／右側から配線時、コントロールボックスの上を通過していますか？
- コネクターキャップの凸部が真下にきていますか？
- 手元スイッチケーブルのケーブルバンドがケーブルクリップよりもベッドの内側で固定されていますか？
- ベッドの可動部に接触していませんか？
- 脚座やキャスターでケーブルを踏んでいませんか？
- ベッドの電源プラグをコンセントに差し込むと、手元スイッチの電源ランプが緑色に点灯しますか？

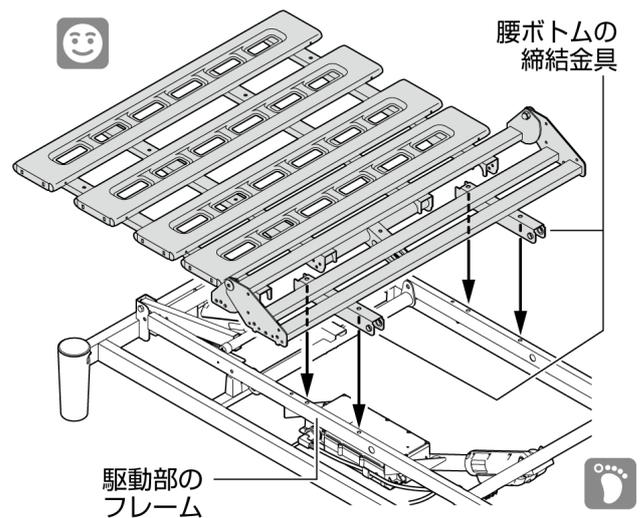
背・腰ボトムの取り付け

注意

- ボトムを持ち上げる際は、逆に反らせたり、必要以上に曲げたりしないでください。破損・変形のおそれがあります。
- ボトムを持ち上げたり、運搬したりする際は、ボトムをしっかりと支えてください。思わぬ動きをして、けがをしたり、ゆかや壁などを傷つけるおそれがあります。
- ヒンジ部分に手や指をはさまれないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- ボトムを取り付ける際に、コードや部品類などを傷つけないよう注意してください。



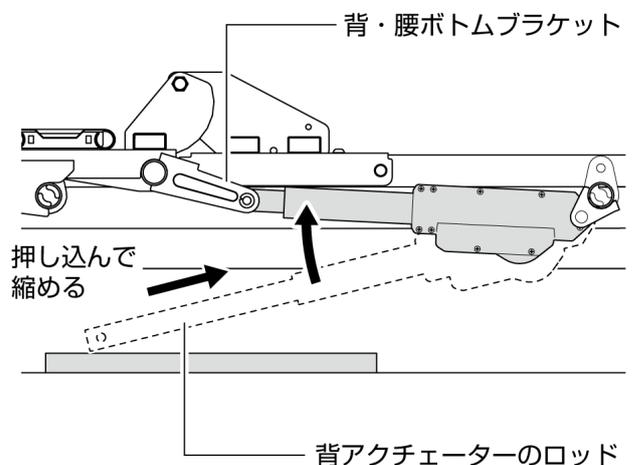
1. 腰ボトムの締結金具と駆動部のフレームをあわせ、背・腰ボトムを駆動部に載せる。



2. アクチュエーターの先端を持ちあげ、背・腰ボトムのブラケットに入れる。

Note

アクチュエーターの先端をブラケットに入れる際は、ロッドを押し込んで縮めてください。



背・腰ボトムを取り付け

3. 図のように、ベッドの右側から左側に向けて連結ピンを差し込み、スナップピンで固定する。

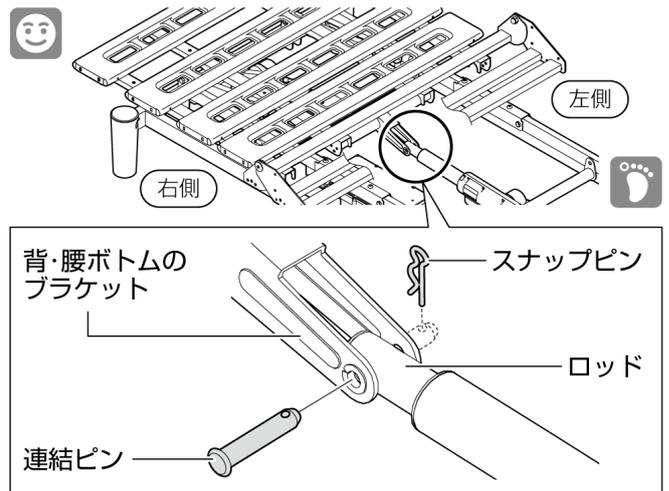
※ ベッドの右側・左側は、使用者が寝た状態で説明しています。

Note

連結ピンを差し込む向きに注意してください。

警告

連結ピンはしっかりと差し込み、スナップピンで確実に固定してください。取り付けが不完全な場合、ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。



Check

作業が終わりましたら、下記の項目を点検してください。

- ボトムとアクチュエーターが連結ピンで固定されていますか？
- 連結ピンは正しい向きに差し込まれていますか？
- 連結ピンはスナップピンで固定されていますか？

Active Sleep ANALYZER (別売) の取り付け

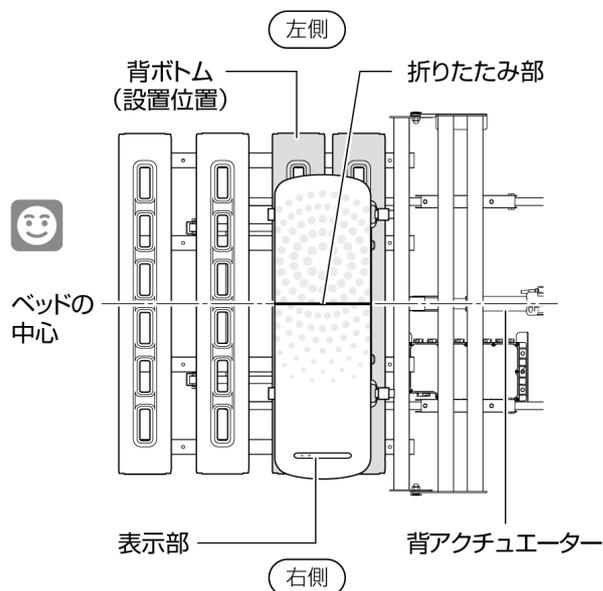
取り付ける前に、Active Sleep ANALYZER の取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。

1. 図のように、Active Sleep ANALYZER 本体上側にある表示部をベッドの右側にして、背ボトムに設置する。

※ ベッドの右側・左側は、使用者が寝た状態で説明しています。

Note

Active Sleep ANALYZER 本体の折りたたみ部とベッドの中心と合わせてください。(背アクチュエーターがベッド中心の目安です。)

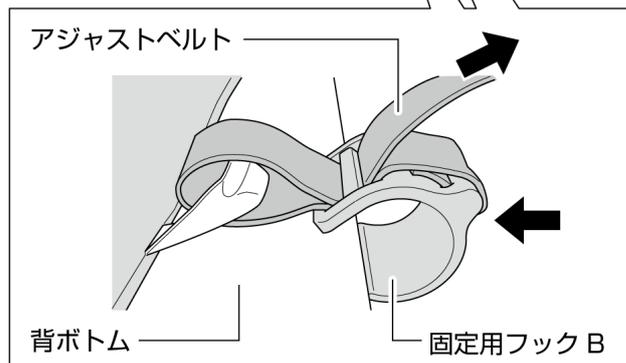
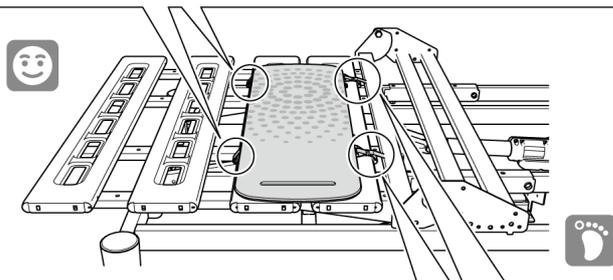
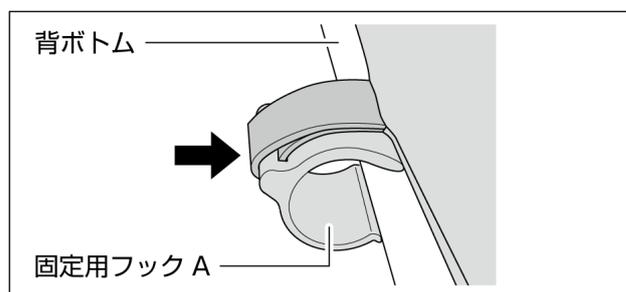


※ 図はシングルサイズで説明しています。

2. 固定用フック A (2ヶ所) をベッドの頭側から足側に向かって背ボトムにはめ込む。
3. 固定用フック B (2ヶ所) をベッドの足側から頭側に向かって背ボトムにはめ込み、アジャストベルトを足側に引っ張って本体をベッドに固定する。

Note

背あげ操作を行ったときに Active Sleep ANALYZER 本体がずれないようにしっかりと固定されているか確認してください。Active Sleep ANALYZER 本体が指定の位置に設置されていなかったり、固定がゆるんで位置がずれてしまうと、正しく測定できないおそれがあります。

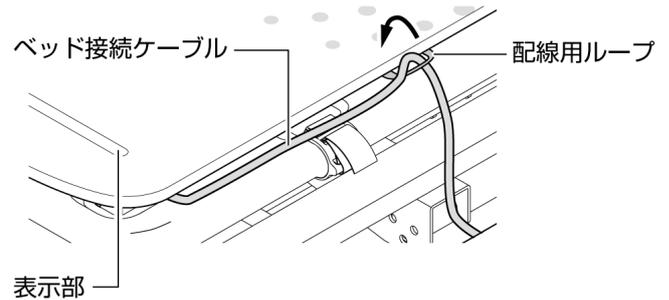


Active Sleep ANALYZER (別売) の取り付け

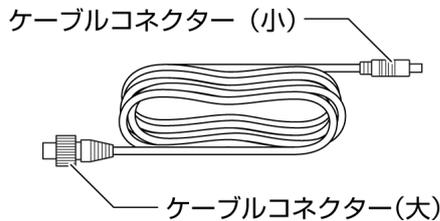
4. 背ボトムと腰ボトムの間からベッド接続ケーブルを引き出し、下から上に表示部側の配線用ループに通す。

Note

ケーブルがアクチュエーターのロッドに絡んでいないか注意してください。

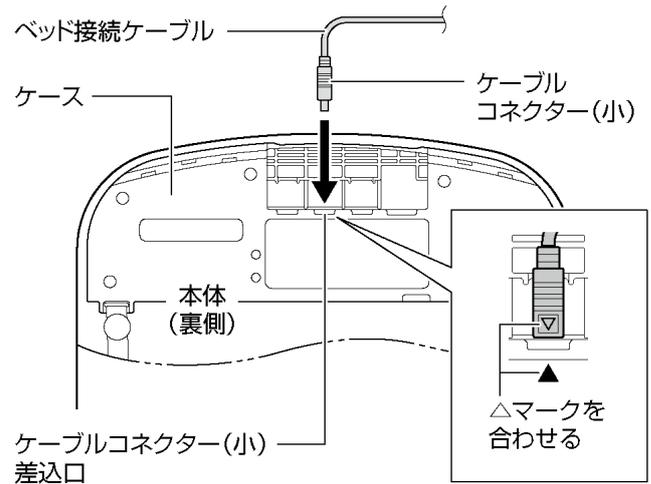


5. Active Sleep ANALYZER 本体裏側にあるファスナーを開き、ケースを出す。
6. ベッド接続ケーブルのケーブルコネクタ (小) をケースにあるケーブルコネクタ (小) 差込口に「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込む。



Note

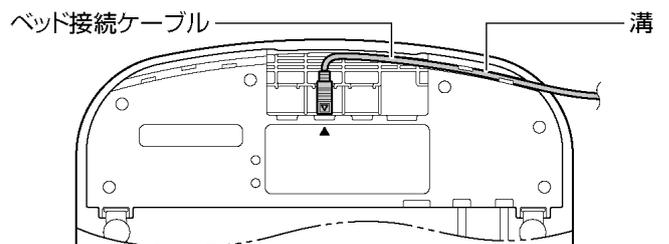
ケーブルコネクタ (小) の▽マークを、ケーブルコネクタ (小) 差込口にある▲に合わせて差し込んでください。



7. ケース裏面にある右側の溝にベッド接続ケーブルをはめ込む。
8. ファスナーを閉める。

Note

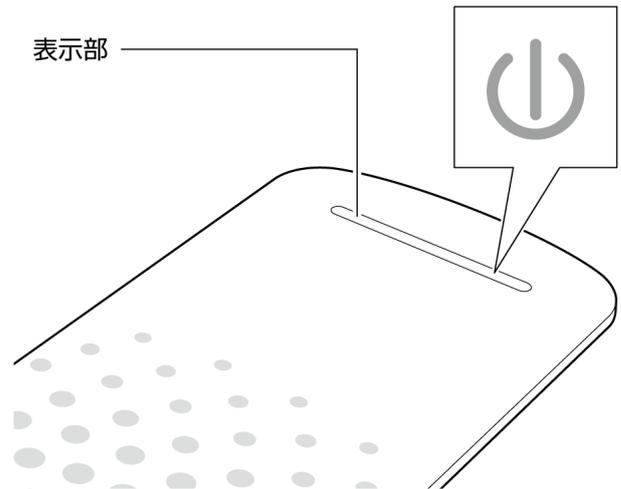
ファスナーを閉める際に、ベッド接続ケーブルを傷つけないようにしてください。



Active Sleep ANALYZER (別売) の取り付け

9. ベッドの電源プラグをコンセントに差し込み、表示部に電源ランプが緑点滅することを確認する。

10. ベッドの電源プラグをコンセントから抜く。



Check

作業が完了しましたら、下記の項目を点検してください。

- Active Sleep ANALYZER 本体が正しい位置（本体の折りたたみ部とベッドの中心が合う）に取り付けられていますか？
- 固定用フックで固定されていますか？（頭側・足側各 2 ヶ所）
- ケーブルが配線用ループを通っていますか？
- ケーブルがアクチュエーターのロッドに絡んでいませんか？
- ケーブルコネクタ（小）がしっかりと差し込まれていますか？
- 電源プラグをコンセントに差し込むと、表示部の電源ランプが緑色に点滅しますか？

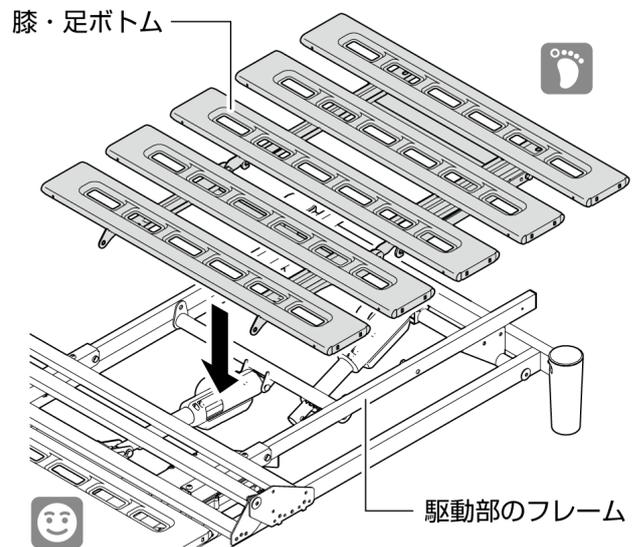
膝・足ボトムの取り付け

膝・足ボトムの取り付け

⚠ 注意

- ボトムを持ち上げる際は、逆に反らせたり、必要以上に曲げたりしないでください。破損・変形のおそれがあります。
- ボトムを持ち上げたり、運搬したりする際は、ボトムと足あげステーをしっかりと支えてください。思わぬ動きをして、けがをしたり、ゆかや壁などを傷つけるおそれがあります。
- ヒンジ部分に手や指をはさまれないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- ボトムを取り付ける際に、コードや部品類などを傷つけないよう注意してください。

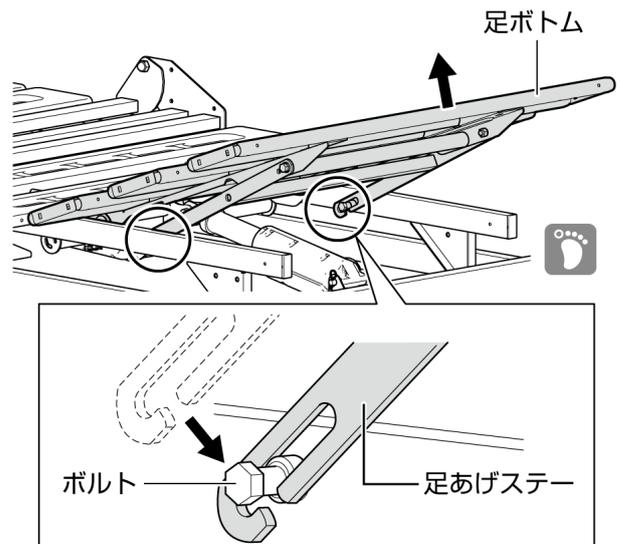
1. 膝・足ボトムの連結金具が駆動部のフレームの内側に入るように、膝・足ボトムを駆動部に載せる。



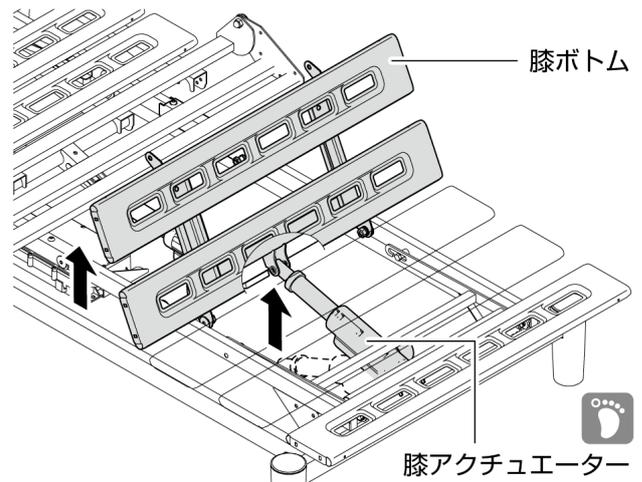
2. 足ボトムを上にあげ、足あげステーを駆動部のボルトに通す。(左右各1ヶ所)

⚠ 注意

- 足ボトムの足あげステーを確実に指定の位置に取り付けてください。取り付けが不十分な場合、膝・足ボトムが不意に落下してけがをしたり、膝あげ動作の際にベッドが破損したりするおそれがあります。
- 膝・足ボトムの取付け作業をする際は、手などはさまないように注意してください。



3. 膝ボトムを持ち上げながら、アクチュエーターの先端をブラケットの近くまで持ちあげる。



4. 膝ボトムをフラットの状態に戻し、アクチュエーターの先端を膝・足ボトムのブラケットに入れる。

Note

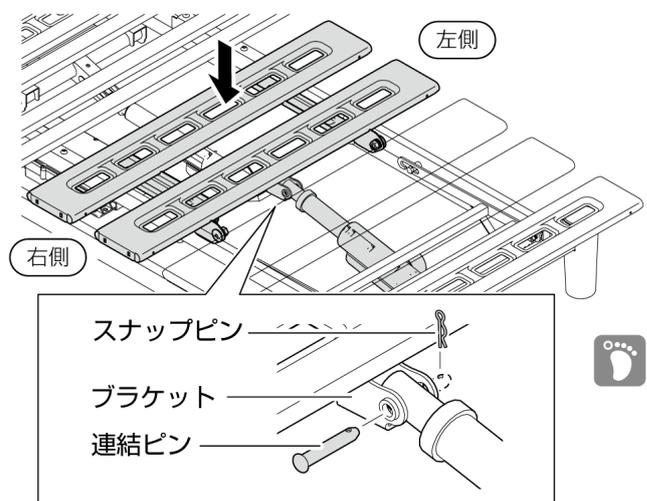
- アクチュエーターの先端をブラケットに入れる際は、ロッドを押し込んで縮めてください。
- アクチュエーターの先端がブラケットに乗りにくい場合は、ボトムの位置を前後にずらして調節してください。

5. 図のように、ベッドの右側から左側に向けて連結ピンを差し込み、スナップピンで固定する。

※ ベッドの右側・左側は、使用者が寝た状態で説明しています。

Note

連結ピンを差し込む向きに注意してください。

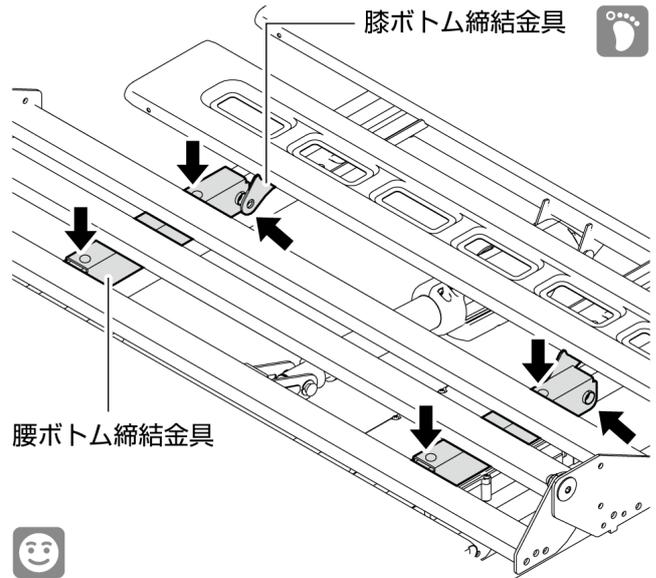


警告

連結ピンはしっかりと差し込み、スナップピンで確実に固定してください。取り付けが不完全な場合、ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。

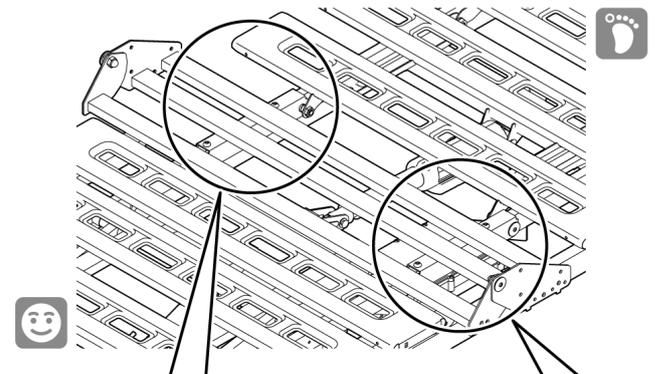
膝・足ボトムを取り付け

6. 腰ボトムの締結金具・膝ボトムの締結金具・駆動部のフレームの取付穴 (図の矢印) の位置をあわせる。



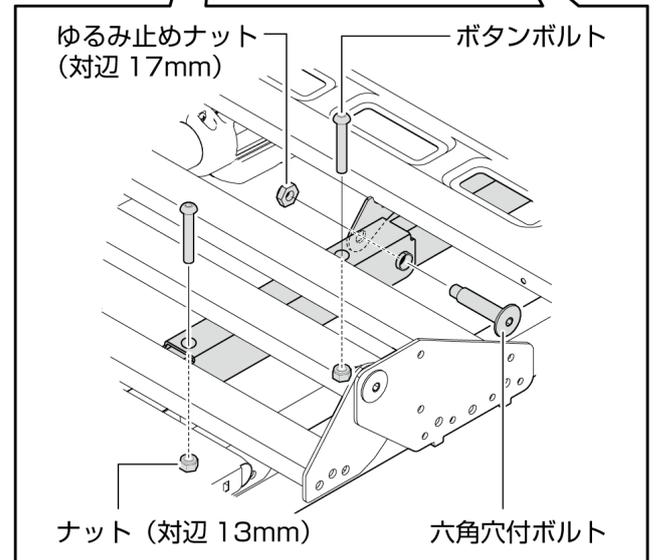
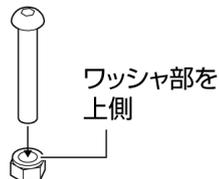
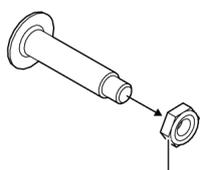
7. 図のように、ベッドの上側から下側に向けて六角穴付ボタンボルト (対辺 5mm) を差し込み、ナット (対辺 13mm) で固定する。(4ヶ所)

8. 図のように、ベッドの外側から内側に向けて六角穴付ボルト (対辺 6mm) を差し込み、ゆるみ止めナット (対辺 17mm) で固定する。(左右各1ヶ所)



Note

- 六角穴付ボルトは、腰ボトムの締結金具と膝ボトムの締結金具の取付穴に必ず通してください。
- 各ボルトの差し込む向きに注意してください。
- 各ナットには向きがあります。正しい向きで取り付けてください。



- 工具を使用して、各ボルトとナットをしっかりと締め付けてください。



Check

作業が完了しましたら、下記の項目を点検してください。

- 足あげステーが駆動部のボルトにしっかりと引っ掛かっていますか？
- ボトムとアクチュエーターが連結ピンで固定されていますか？
- 連結ピンは正しい向きに差し込まれていますか？
- 連結ピンはスナップピンで固定されていますか？
- ボトムと駆動部のフレームがしっかりと固定されていますか？

パネルセットの取り付け

パネルセットの取り付け

⚠ 注意

パネルセットを取り付ける際は、落下させないように注意してください。ゆかやパネルセットを傷つけるおそれがあります。

パネルセットには、下記の部品があります。

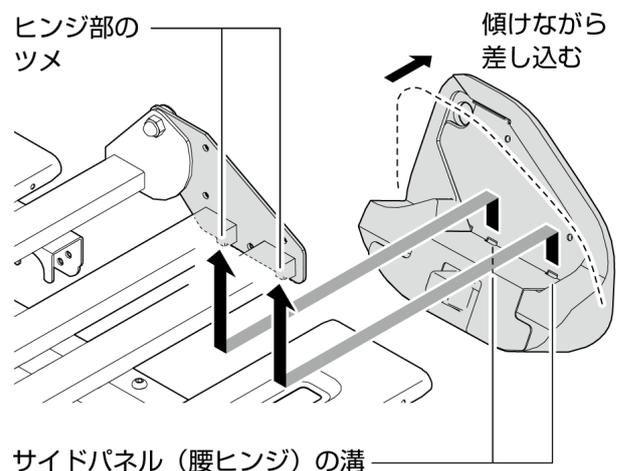
- サイドパネル（背ボトム／腰ヒンジ／膝ボトム／足ボトム）
- エンドパネル

📦 梱包部品の確認(P.10)

サイドパネル（腰ヒンジ）の取り付け

サイドパネル（腰ヒンジ）は、左右の腰ボトムのヒンジ部に取り付けてください。

1. サイドパネル（腰ヒンジ）は少し傾けながら、ヒンジ部にあるツメを溝に差し込む。（2ヶ所）



2. サイドパネル（腰ヒンジ）を垂直に戻し、穴位置をあわせてスクリベットを差し込む。（3ヶ所）

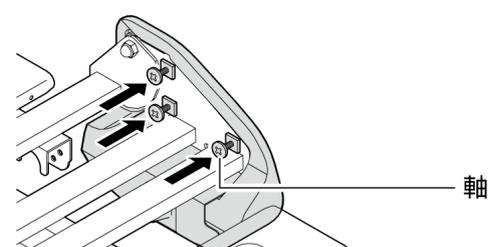
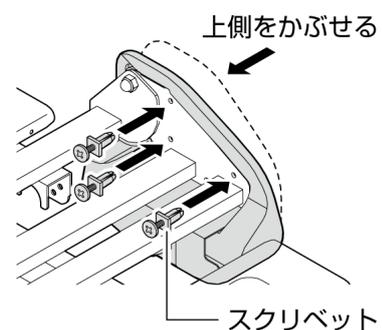
Note

スクリベットが差し込みにくい場合は、スクリベットの軸を回して緩めてから、再度差し込んでください。

3. プラスドライバーを使用してスクリベットの軸を押し込み、サイドパネル（腰ヒンジ）をヒンジ部分に固定する。

Note

プラスドライバーがない場合は、スクリベットの軸は指で押し込んでください。

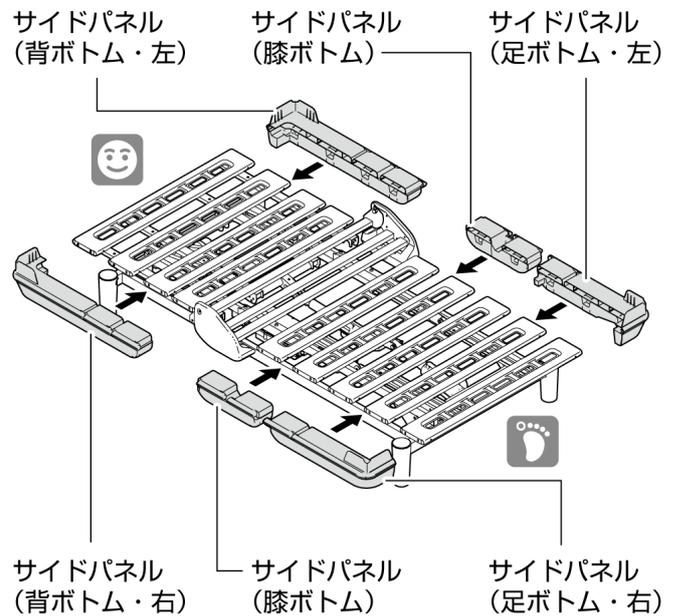


サイドパネル（背ボトム／膝ボトム／足ボトム）の取り付け

1. 背ボトムにサイドパネル（背ボトム）を取り付ける。（左右各1ヶ所）
2. 膝ボトムにサイドパネル（膝ボトム）を取り付ける。（左右各1ヶ所）
3. 足ボトムにサイドパネル（足ボトム）を取り付ける。（左右各1ヶ所）

Note

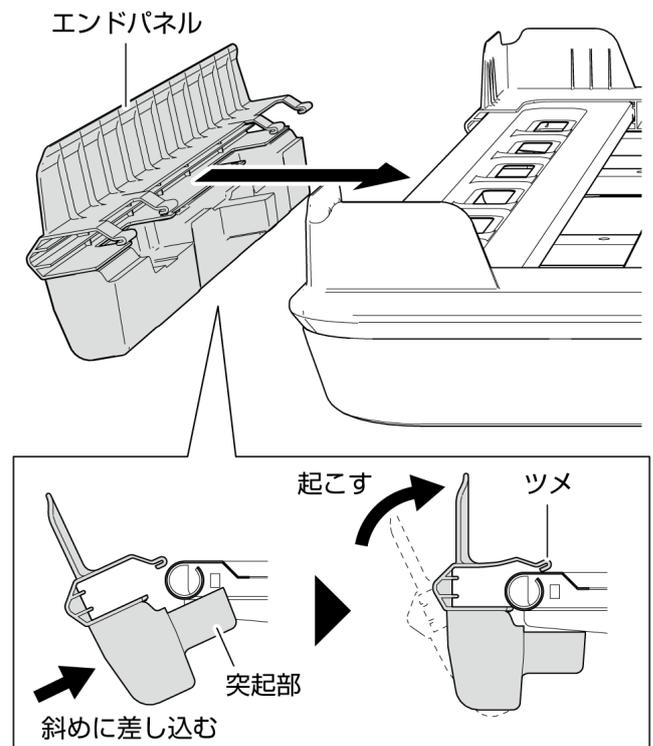
- サイドパネルを取り付ける際は、「パチッ」と音がするまでボトム端部に差し込んでください。
- 取り付け後、サイドパネルを軽く引いて、ボトムに確実に取り付けられていることを確認してください。



エンドパネルの取り付け

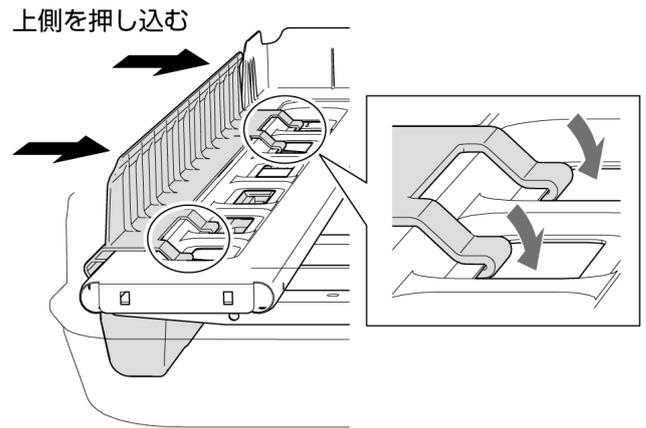
エンドパネルは、背ボトムと足ボトムに取り付けてください。

1. エンドパネルの突起部をボトムの下側にあわせて、下から斜めに差し込む。
2. エンドパネルの上部を起し、ツメをたわませながら奥まで差し込む。



パネルセットの取り付け

3. エンドパネルの上部を押し込み、ツメをボトムの通気穴に引っ掛ける。(4ヶ所)



Check

作業が完了しましたら、下記の項目を点検してください。

サイドパネル（腰ヒンジ）：

- 腰ボトムของヒンジ部のツメがサイドパネルの溝（2ヶ所）に入っていますか？
- サイドパネルがスクリベットで固定されていますか？（左右各3ヶ所）

サイドパネル（背ボトム／膝ボトム／足ボトム）：

- サイドパネルがボトムにしっかりと引っ掛かっていますか？

エンドパネル：

- エンドパネルがボトムにしっかりと差し込まれていますか？
- エンドパネルのツメがボトムの通気穴にしっかりと引っ掛かっていますか？（頭側・足側各4ヶ所）

Active Sleep MATTRESS（別売）の取り付け

取り付ける前に、Active Sleep MATTRESS の取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。



ポンプ本体やベッドリンクケーブルなどの電装品の取扱いに注意してください。

Active Sleep MATTRESS が誤動作してけがをしたり、故障の原因となったりします。また、ショートなどにより感電・火災のおそれがあります。

- 踏みつけたり、押しつけたり、無理な力をかけたりしないでください。
- ぶつけたり傷つけたりしないでください。
- 落としたり、コードを無理に引っ張ったりしないでください。
- 水をかけたり濡れた手で触ったりしないでください。

Active Sleep MATTRESS を壁などに立てかけないでください。

Active Sleep MATTRESS が倒れて、電装品が破損し、感電・火災のおそれがあります。

Active Sleep MATTRESS を移動する際は、2人以上で頭側と足側を持ち、ポンプ本体を支えながら移動してください。

Active Sleep MATTRESS を落とし、ポンプ本体が破損した場合、誤動作してけがをするおそれがあります。また、ショートなどにより感電・火災のおそれがあります。

Active Sleep MATTRESS (別売) の取り付け

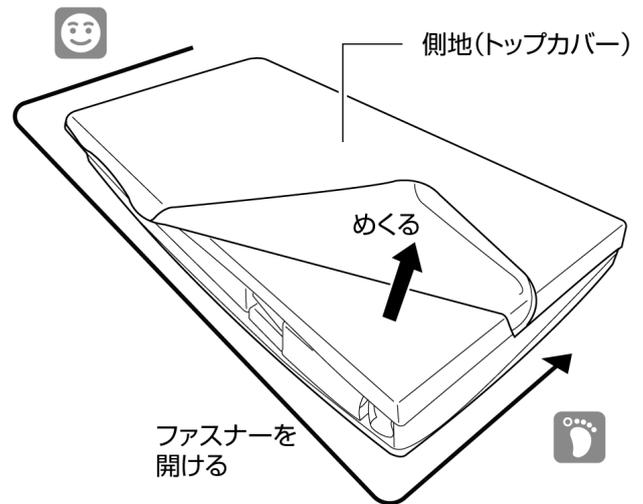
AC アダプターの取り外し

ベッドリンクケーブルを使用して Active Sleep MATTRESS とベッド接続する場合は、AC アダプターからの電源供給が不要となります。AC アダプターを Active Sleep MATTRESS から取り外してください。

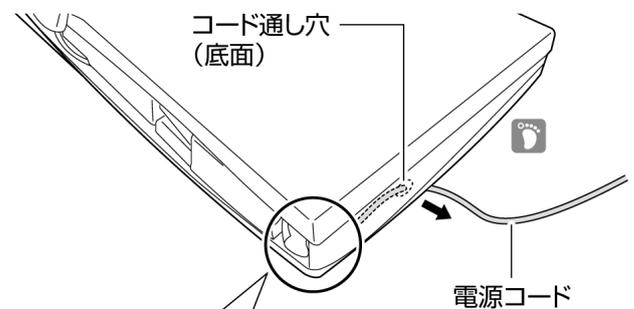
Note

取外した AC アダプターと電源コードは、紛失しないように保管してください。

1. 本体の側地 (トップカバー) のファスナーを開ける。
2. 側地 (トップカバー) を矢印の方向にめくる。

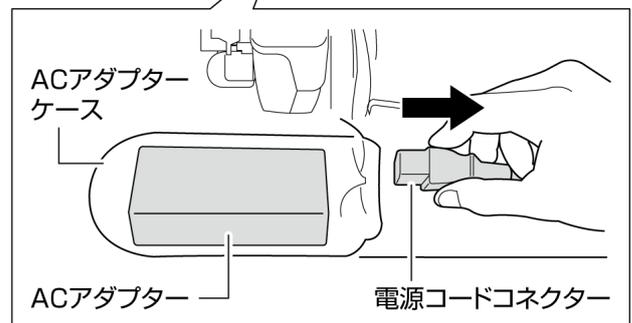
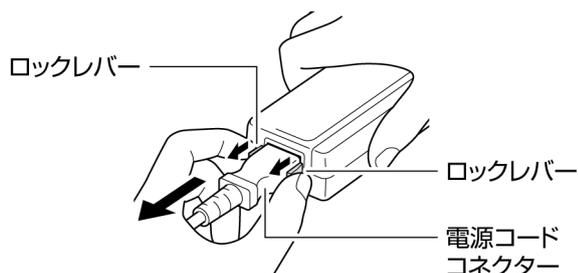


3. AC アダプターケース内にある AC アダプターから電源コードコネクタを引き抜き、本体の足側底面にあるコード通し穴から電源コードを引き出す。



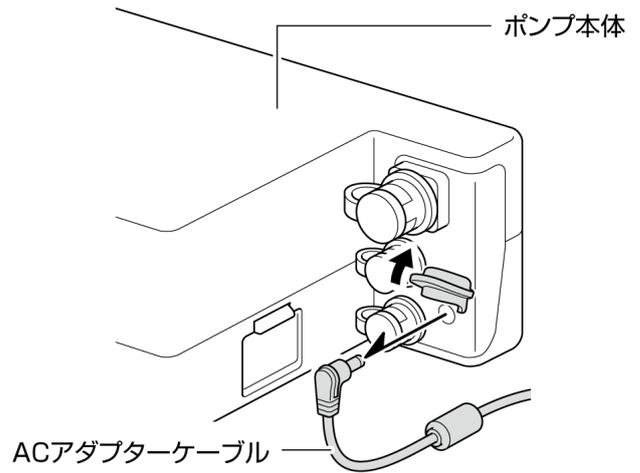
警告

電源コードコネクタには抜け防止のロック機構が備わっています。電源コードを AC アダプターの電源コードコネクタ差込口から抜く際は、電源コードコネクタ左右のロックレバーを引きながら抜いてください。ロックレバーを引かずに抜こうとすると、電源コードコネクタや電源コードが破損・断線して、感電・火災のおそれがあります。

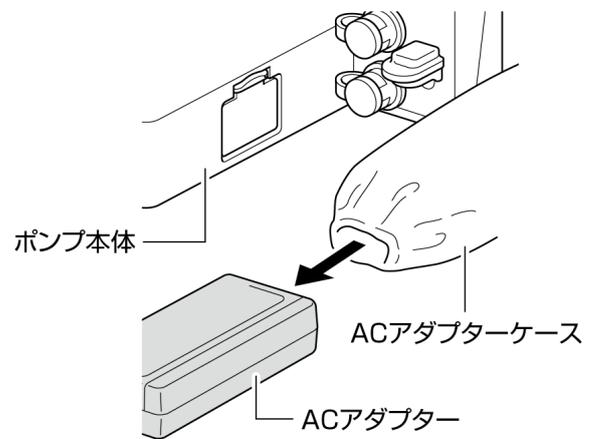


Active Sleep MATTRESS (別売) の取り付け

4. ポンプ本体から AC アダプターケーブルを取り外す。



5. AC アダプターケース内にある AC アダプターを取り出す。



6. 本体の側地(トップカバー)のファスナーを閉める。

Active Sleep MATTRESS (別売) の取り付け

Active Sleep MATTRESS の設置



警告

Active Sleep MATTRESS を移動する際は、2人で頭側と足側を持ち、ポンプ本体を支えながら移動してください。また側地（トップカバー）を開けたまま移動しないでください。

Active Sleep MATTRESS を落とし、ポンプ本体が破損した場合、誤動作してけがをするおそれがあります。また、ショートなどにより感電・火災のおそれがあります。

ベッドリンクケーブルを抜き差しする際は、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

Active Sleep MATTRESS やベッドなどが誤動作したり、故障したりするおそれがあります。また、無理な力を加えないでください。差込部などが破損し、感電・火災のおそれがあります。

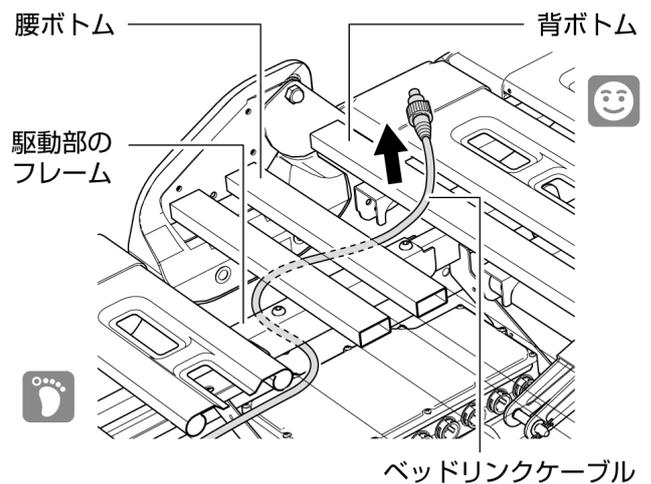
1. 図のように、コントロールボックスに接続したベッドリンクケーブルを駆動部のフレームの外側になるように配線する。

2. 背ボトムと腰ボトムの間から引き出す。

📖 Active Sleep MATTRESS (別売) の配線(P.25)

Note

ケーブルがアクチュエーターのロッドに絡んでいないか注意してください。



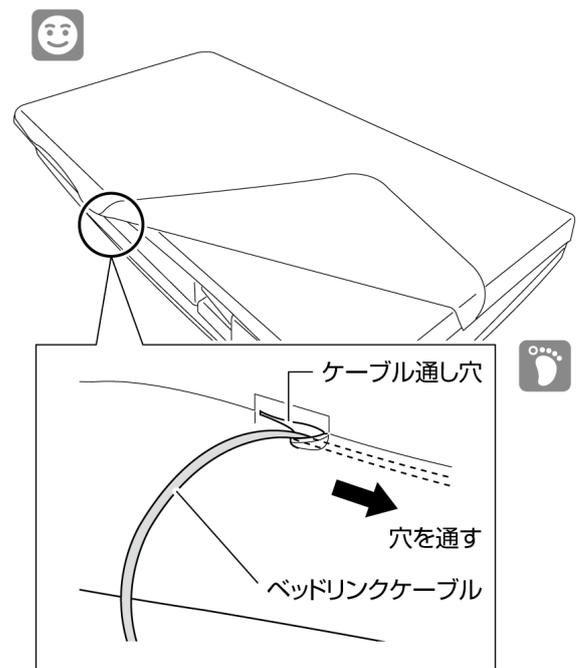
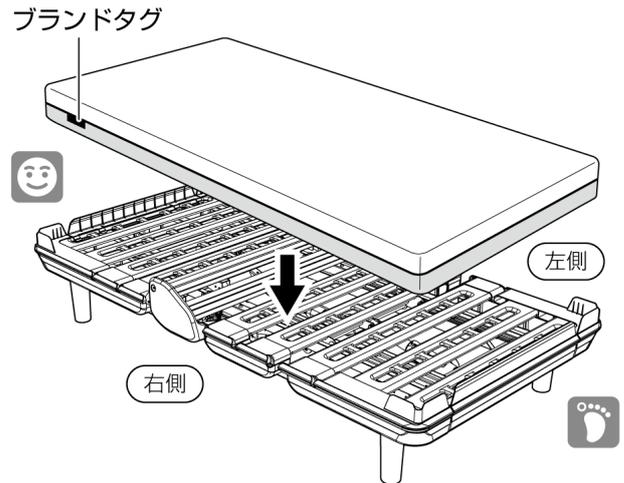
Active Sleep MATTRESS (別売) の取り付け

3. ベッドのボトムをフラットな状態にして、ベッドのボトム上に障害物がないことを確認する。
4. Active Sleep MATTRESS 本体の白い面を上側にし、ブランドタグがベッドの頭側・ベッドの右側になるように設置する。

※ ベッドの右側・左側は、使用者が寝た状態で説明しています。

Note

- 他のマットレスの上に設置せず、ベッド上に直接敷いてください。
 - Active Sleep MATTRESS には表・裏・頭側・足側があります。Active Sleep MATTRESS 本体を設置する際は、向きに注意してください。
 - 設置する際は、サイドパネル（腰ヒンジ）の上部に側地を引っ掛けないように注意してください。サイドパネル（腰ヒンジ）が破損・変形するおそれがあります。
 - 低温・乾燥した環境では、静電気が発生するおそれがあります。設置する際や使用する際は注意してください。
5. 本体の側地（トップカバー）のファスナーを開けて、側地（トップカバー）をめくる。
 6. 本体の右側底面にあるケーブル通し穴から、引き出したベッドリンクケーブルを本体内部に通す。

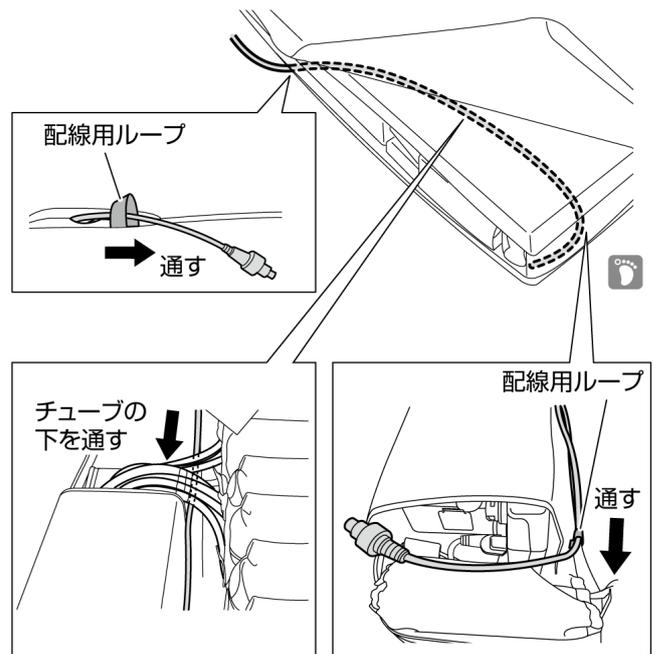


Active Sleep MATTRESS (別売) の取り付け

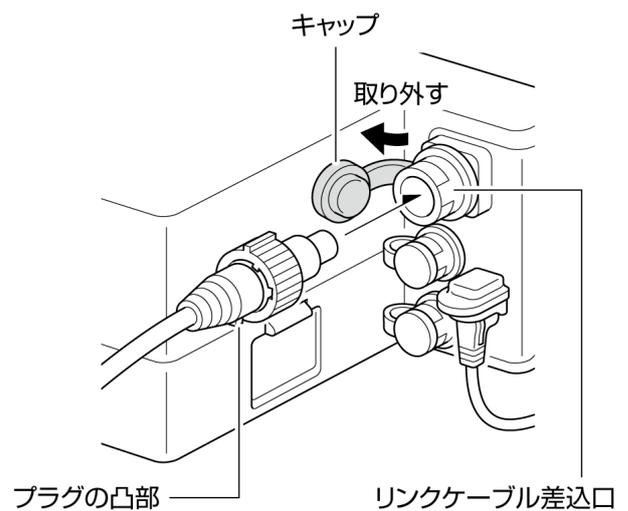
7. 本体内部の配線用ループ (2ヶ所) にベッドリンクケーブルを通し、ポンプ本体まで配線する。

Note

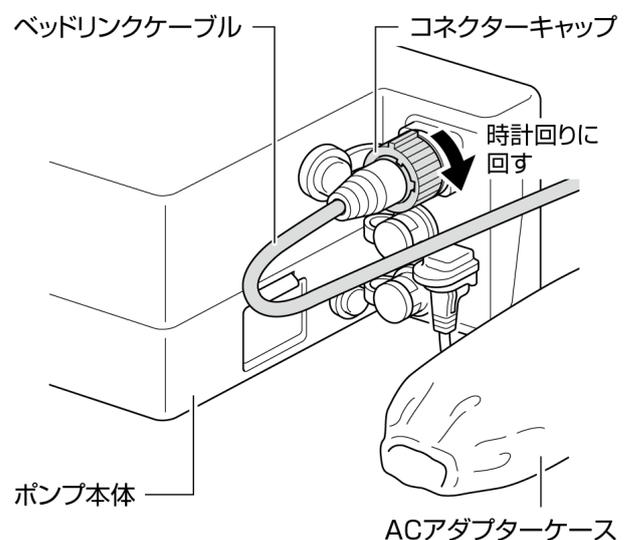
ベッドリンクケーブルはチューブの下を通るように配線してください。



8. リンクケーブル差込口に付いているキャップを取り外す。
9. ベッドリンクケーブルのプラグ (ポンプ側) の『凸部』を下向きにしてリンクケーブル差込口に差し込む。



10. コネクターキャップを時計回りに回して固定する。
11. ベッドリンクケーブルを AC アダプターケースとポンプ本体のすき間に配置する。
12. 本体の側地 (トップカバー) のファスナーを閉める。



Active Sleep MATTRESS（別売）の取り付け

Check

作業が完了しましたら、下記の項目を点検してください。

- Active Sleep MATTRESS が正しく設置されていますか？
- AC アダプターと電源コードを Active Sleep MATTRESS から取り外しましたか？
- ケーブルが正しく配線されていますか？
- ケーブルがアクチュエーターのロッドに絡んでいませんか？
- コネクターキャップの凸部が真上にきていますか？
- 側地（トップカバー）のファスナーを閉めましたか？

ボックスシーツの取り付け

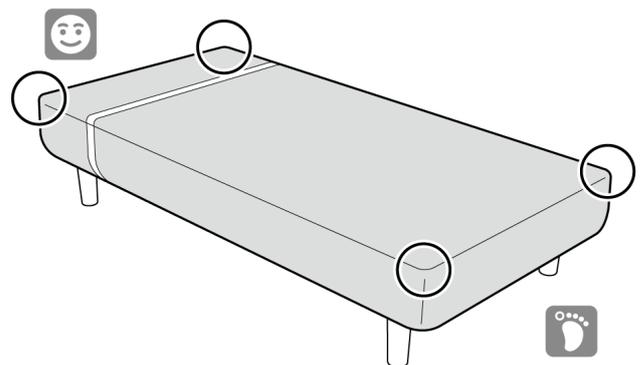
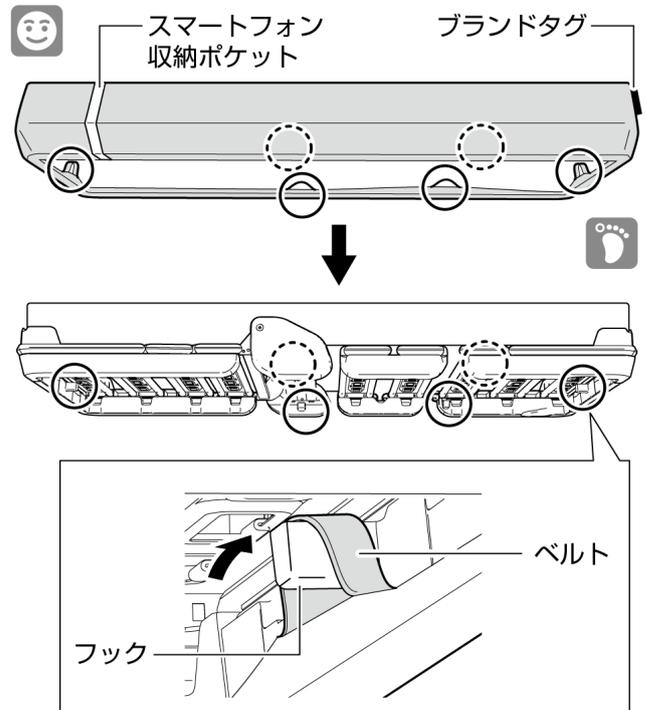
ボックスシーツの取り付け

ベッド本体にボックスシーツを取り付ける前に、Active Sleep ANALYZER（別売）とマットレスを設置してください。

1. スマートフォン収納ポケットがおもて面になるようにして、ボックスシーツをベッド本体に被せる。
2. ボックスシーツのベルトをサイドパネルのフックに引っ掛ける。（頭・足側各1ヶ所、左右各2ヶ所）
※ 図はコットンスムーズニットで説明しています。

Note

- ボックスシーツには向きがあります。ブランドタグがベッド足側になるように正しい向きで取り付けてください。
 - ベルトをフックに引っ掛けた後、フックの奥までしっかりとかかるようにボックスシーツをつまんで、軽く外側に引っ張ってください。
 - コットンスムーズニットのみ、足側のベルトの色がグレーです。（他5本のベルトは黒）
3. ボックスシーツの角とベッドの角を合わせる。（4ヶ所）



Check

作業が完了したら、下記の項目を点検してください。

- Active Sleep ANALYZER（別売）とマットレスがベッドに設置されていますか？
- 正しい向きに取り付けられていますか？
- ボックスシーツのベルトがパネルのフックの奥までしっかりと引っ掛かっていますか？（頭・足側各1ヶ所、左右各2ヶ所）
- ボックスシーツの角とベッドの角が合っていますか？（4ヶ所）
- 足側の駆動部のフレーム端部にボックスシーツが引っ掛かっていますか？

組立後の点検

ベッドの組み立てが終わりましたら、ベッドに人が乗っていないことを確認の上、下記を点検してください。

- キャスターなどのオプションをご使用の場合は、各製品の「取扱説明書」をご覧ください。
- 異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、パラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

📞 お問い合わせ先(P.54)

⚠️ 警告

組立後は点検を行ってください。

組立が不十分な状態で使用すると、けがや故障のおそれがあります。

⚠️ 注意

点検作業をしているときに異常音や振動が生じた場合は、すぐにベッドの使用を中止してください。

けがや破損の原因となります。パラテクノコールセンターまでご連絡ください。

ベッド動作の確認

手でボトムを持ちあげて「背あげ」「膝あげ」を行ったとき、以下の異常がないか点検してください。

⚠️ 警告

手でボトムを持ち上げる際は、以下に注意してください。

- 足側のエンドパネルを持って、足ボトムを持ちあげないでください。足あげステーの取り付けが不十分になり、膝・足ボトムが不意に落下してけがをしたり、膝あげ動作の際にベッドが破損したりするおそれがあります。
- ボックスシーツを持って、ボトムを持ちあげないでください。ボックスシーツが滑って、ボトムが不意にさがり、けがをしたりボックスシーツが破損したりするおそれがあります。

☑️ 異音がしたり、動作しなかつたりしていませんか？

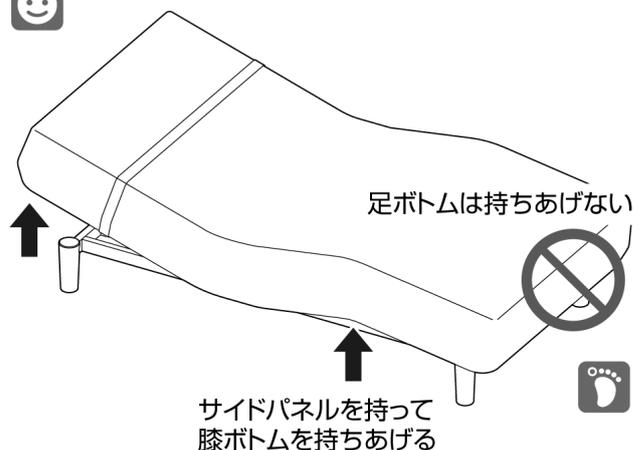
➡️ 異常がある場合は、パラテクノコールセンターまでご連絡ください。

☑️ ベッドが家具などに当たっていませんか？

➡️ 当たる場合は、ベッドを移動するか障害物を取り除いてください。

☑️ ケーブル類がアクチュエーターやフレームに絡まったり、はさまったりしていませんか？

➡️ 正しい配線ではない場合は、配線し直してください。



組立後の点検

ベッド・電装品の傷や変形

- ボトムやフレーム・パネルなどに、傷や変形がありませんか？ ➡ 異常がある場合は、パラテクノコールセンターまでご連絡ください。
- プラグやコード類に傷などありませんか？ ➡ 異常がある場合は、パラテクノコールセンターまでご連絡ください。

ラベルのはがれ

- ラベルがはがれたり、文字が見えなくなったりしていませんか？ ➡ 異常がある場合は、パラテクノコールセンターまでご連絡ください。

ベッドの滑り

- ベッドを前後・左右から押したとき、容易に滑りませんか？ ➡ ベッドが滑る場合は、脚座の下に敷物などを敷いてください。

ボックスシーツの取り付け

- 足側の駆動部のフレーム端部にボックスシーツが引っ掛かっていませんか？ ➡ 引っ掛かっている場合は、ボックスシーツを正しく取り付け直してください。

分解・保管

分解

ベッドの組立と逆の手順で分解してください。

警告

- ベッドの分解は、ベッドをフラットにした状態で行ってください。ベッドをフラットな状態にしないまま分解しますと、部品の落下などにより思わぬけがをしたり、故障したりするおそれがあります。
- キャスター（別売）を使用している場合は、キャスターを固定状態（回転しない状態）にしてから作業を行ってください。固定状態になっていないと、分解作業中にベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。

付属部品、その他部品の保管

ベッドを分解した後、オーナーズマニュアル（別冊）・組立手順書・付属部品・その他の部品は袋などに入れて保管してください。

アフターサービスについて

保証書

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

販売店名・お買い上げ日の記入がない場合は、品番・販売店・お買い上げ日が確認できるように、製品をお買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

修理を依頼されるとき

修理を依頼する前に「故障かな?と思ったら」に従って調べてください。それでも直らないときは、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いて、弊社製品の修理受付窓口であるパラテクノコールセンターまでご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- 品名、品番
- 製品識別表示ラベルの番号
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- お名前、ご住所および電話番号

消耗部品について

ボックスシーツは消耗部品です。

保証期間内のとき

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

部品の最低保有年数

弊社ではこのベッドの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を設けております。

最低保有年数：製造打ち切り後8年

お問い合わせ先

製品のアフターサービスについてご不明な場合、お買い上げの販売店、パラテクノコールセンターまたは Active Sleep 専用ダイヤルまでお問い合わせください。

製品の故障や不具合等のお問い合わせ

パラテクノコールセンター

電話番号：0120-54-8639（フリーダイヤル）

受付時間：平日 8：00 ～ 18：00 / 土・日・祝日 9：00 ～ 17：00（年始は休業いたします）

【パラテクノ株式会社について】弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

アプリや通信に関するお問い合わせ

Active Sleep 専用ダイヤル

電話番号：0120-98-4964（フリーダイヤル）

Eメール：activesleep-support@paramount.co.jp

受付時間：9:00～17:00（1/1～1/3 は休業いたします）

パラマウントベッド株式会社 直営店

眠りギャラリー TOKYO	〒104-0031	東京都中央区京橋 1 丁目 6 番 1 号三井住友海上アパビル 1 階	(03)5250-1515(代)
眠りギャラリー SAPPORO	〒060-0062	札幌市中央区南 2 条西 13 丁目 318 番地 11	(011)219-8800(代)
眠りギャラリー NAGOYA	〒461-0001	名古屋市東区泉 1 丁目 20 番 17 号	(052)963-6800(代)
眠りギャラリー OSAKA	〒550-0001	大阪市西区土佐堀 2 丁目 3 番 33 号 7 階	(06)6443-6565(代)
眠りギャラリー FUKUOKA	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東 3 丁目 14 番 20 号	(092)461-0666(代)

パラマウントベッド株式会社

本 社	〒136-8670	東京都江東区東砂 2 丁目 14 番 5 号	(03)3648-1111（大代）
東京支店	〒136-8670	東京都江東区東砂 2 丁目 14 番 5 号	(03)3648-1171（代）
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南 2 条西 13 丁目 318 番地 11	(011)271-1181（代）
仙台支店	〒984-0015	仙台市若林区卸町 2 丁目 3 番地の 3	(022)239-5211（代）
さいたま支店	〒336-0967	さいたま市緑区美園 3 丁目 23 番 1	(048)878-0100（代）
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間 5 丁目 3 番 33 号	(042)795-8800（代）
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉 1 丁目 20 番 17 号	(052)963-0600（代）
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀 2 丁目 3 番 33 号	(06)6443-8791（代）
高松営業所	〒761-8031	高松市郷東町 2 2 3 番 1	(087)881-8900（代）
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町 3 丁目 8 番 5 号	(082)293-1311（代）
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東 3 丁目 14 番 20 号	(092)461-1131（代）

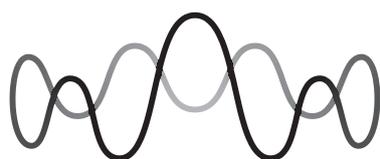












Active Sleep
BED